

# 愛南町都市計画マスタープラン住民アンケート調査結果

令和8年5月  
愛南町 建設課

## 【目次】

1 調査の概要 .....	2
2 回答者属性（問1～問8） .....	3
3 生活環境の不便・不安（問9） .....	8
4 満足度・重要度評価（問10） .....	12
5 定住意向（問11・問12） .....	17
6 まちの将来像と都市構造（問13・問14） .....	24
7 役場周辺の都市機能（問15） .....	27
8 土地利用の方向性（問16） .....	28
9 災害リスクの高い区域のまちづくり（問17） .....	29
10 人口減少・高齢化への不安（問18） .....	30
11 地域の移動（問19） .....	32
12 住民参加の意向（問20） .....	33
13 自由記述回答の概要（問21） .....	34
資料編：自由記述回答の整理 .....	39
(1) 自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）[全回答] .....	39
(2) 自由記述（お住まいの「地域」に新たに必要な機能・サービス）[全回答] ....	48
(3) 自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）[全回答] .....	56
(4) 自由記述（その他）[全回答] .....	62

## 1. 調査の概要

### 1.1 調査の目的

本調査は、都市計画マスタープランの策定にあたり、今後のまちづくりに関する住民意向を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

### 1.2 調査の概要

項目	内容
調査対象	・ 令和7年4月1日現在で16歳以上 かつ ・ 令和7年12月1日時点で愛南町に住民票のある方
調査方法	・ 郵送配布・郵送回収(3,000通)、WEB回答(QRコード)、 ・ 高校生への配布、回覧板による案内
調査期間	・ 令和7年12月24日～令和8年1月31日
調査項目	・ 回答者属性(問1～8) ・ 生活環境の評価(問9～10) ・ 定住意向(問11～12) ・ 将来像・都市構造(問13～14) ・ 都市機能・土地利用(問15～16) ・ 防災・事前復興(問17) ・ 人口減少に対する懸念(問18) ・ 交通(問19) ・ 住民参加(問20) ・ 自由記述(問21)

### 1.3 回収状況

回答経路	件数	構成比	備考
郵送配布 → 郵送回収	954	64.3%	
郵送配布 → WEB回答	283	19.1%	
回覧板(広報) → WEB回答	136	9.2%	郵送配布外
高校生(南宇和高校)への依頼	100	6.7%	郵送配布外
事前復興WS参加者への依頼	11	0.7%	郵送配布外
合計	1,484	100.0%	

郵送配布分(3,000通)の回収数は1,237件(郵送954件+WEB283件)であり、回収率は41.2%となっています。

---

全回答数1,484件(有効回答1,478件)、郵送配布分の回収率41.2%

---

#### 【調査結果の見方について】

- 小数点第2位を四捨五入している関係で、表やグラフ合計が100%にならない場合があります。
- グラフに記載の「n」はその設問のサンプル数(回答者数)を示します。
- 単一回答設問において複数の回答が選択されている場合などは、「不明」として当該設問の集計対象(サンプル)から除外しています。

## 2. 回答者属性（問1～問8）

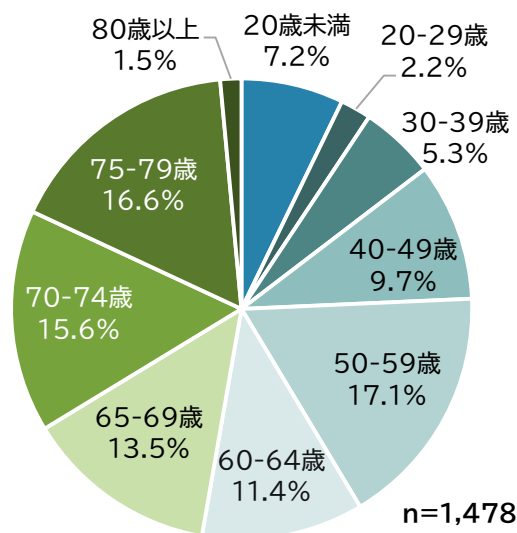
### 2.1 年齢構成（問1）

【問1】アンケートに回答されるご本人の年齢をお答えください。＜単一回答＞

- 町の人口構成（令和2年国勢調査：65歳以上45.6%）を反映した回答構成となっており、60歳以上が全体の58.6%を占めています。
- 高校生（100名）を除く40歳未満の若年層は7.9%にとどまっています。若年層の意向把握については高校生アンケート（100票）で補完していますが、20～30歳代の回答が少ない点には留意が必要です。

年齢区分	回答数	割合	特徴
20歳未満	106	7.2%	高校生100名を含む
20～29歳	32	2.2%	
30～39歳	78	5.3%	若年層（40歳未満）計14.6%
40～49歳	143	9.7%	
50～59歳	253	17.1%	
60～64歳	168	11.4%	60歳以上計58.6%
65～69歳	200	13.5%	
70～74歳	231	15.6%	70歳以上計33.7%
75～79歳	245	16.6%	
80歳以上	22	1.5%	

※n=1,478（無回答6）



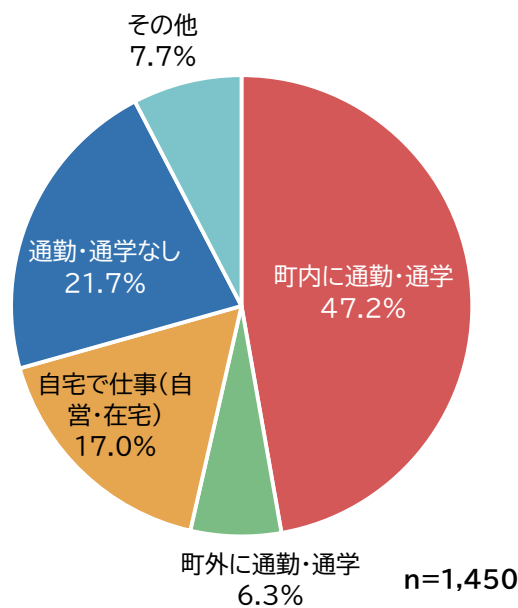
## 2.2 現在の状況（問2）

【問2】 あなたの現在の状況についてお答えください。＜単一回答＞

- 「町内に通勤・通学」が47.2%と最も多く、「自宅で仕事（自営・在宅）」（17.0%）を合わせると、6割以上が町内で就労・就学しています。
- 「通勤・通学なし」（21.7%）は退職後の高齢者が中心と考えられます。
- 町内で日常生活が完結している住民が多いことがうかがえます※。

選択肢	回答数	割合
町内に通勤・通学	685	47.2%
町外に通勤・通学	92	6.3%
自宅で仕事（自営・在宅）	247	17.0%
通勤・通学なし	315	21.7%
その他	111	7.7%

※n= 1,450（無回答 34） 注）無職・主婦等は通勤・通学なしに修正



（※補足）

- ・ 令和2年国勢調査では、本町の昼間人口は18,864人、夜間人口は19,601人であり、夜間人口が昼間人口を上回っています。
- ※昼間人口 = 【常住地による人口 - 周辺市町への流出人口 + 周辺市町からの流入人口】
- ・ 同調査の就業者・通学者についてみると、本町に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち8割以上が町内で従業・通学しています。他市町・県外への流出先は宇和島市が最も多く、次いで高知県宿毛市となっています。また、本町における15歳以上の就業者・通学者の約9割が町内に常住しており、他市町・県外からの流入元についても宇和島市が最も多く、次いで高知県宿毛市となっています。

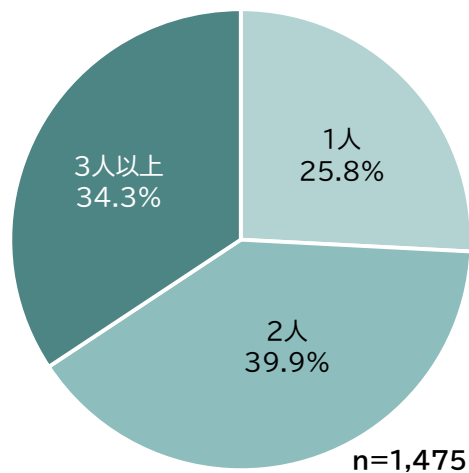
## 2.3 世帯構成（問3～問5）

【問3】 あなたの世帯人数をお答えください。＜単一回答＞

- 世帯人数については、2人世帯が39.9%で最も多く、1人世帯25.8%、3人以上世帯34.3%となっています。

選択肢	回答数	割合
1人	381	25.8%
2人	588	39.9%
3人以上	506	34.3%

※n= 1,475（無回答9）



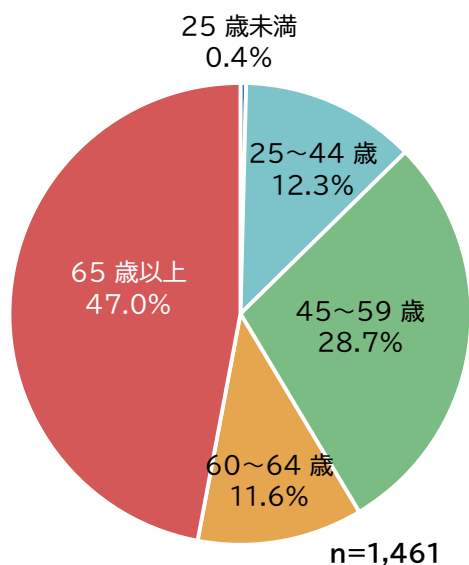
【問4】 あなたの世帯で、家計を主に支えている方（世帯主）の年齢をお答えください。＜単一回答＞

- 世帯主の年齢は65歳以上が47.0%と約半数を占めており、世帯主の高齢化が進んでいることがうかがえます。

（※なお、今後10年で後期高齢者世帯がさらに増加することが見込まれます。）

選択肢	回答数	割合
25歳未満	6	0.4%
25～44歳	179	12.3%
45～59歳	420	28.7%
60～64歳	169	11.6%
65歳以上	687	47.0%

※n= 1,461（無回答23）

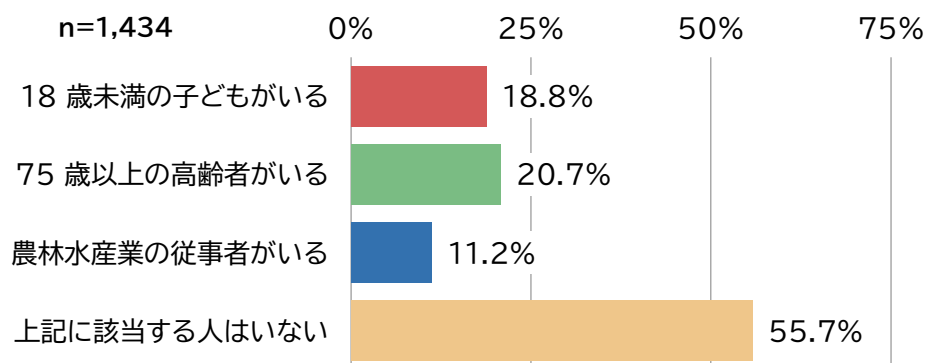


【問5】 あなたの世帯に以下の方はいますか。＜複数回答＞

- 世帯構成では、75歳以上の高齢者がいる世帯が20.7%、18歳未満の子どもがいる世帯が18.8%、農林水産業従事者がいる世帯が11.2%となっています。

選択肢	回答数	割合
75歳以上の高齢者がいる	297	20.7%
18歳未満の子どもがいる	269	18.8%
農林水産業従事者がいる	161	11.2%
上記に該当する人はいない	799	55.7%

該当するものを選択（n=1,434、複数回答）（無回答50）



※複数選択（該当全選択）

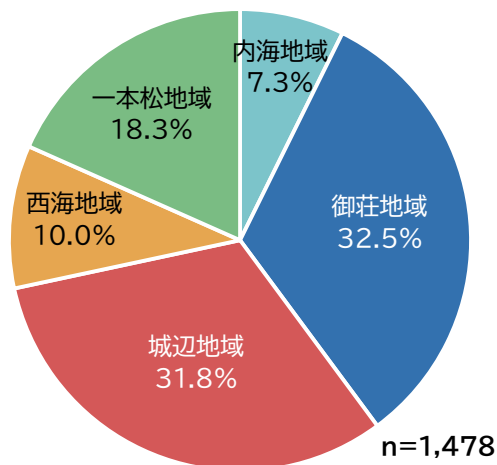
## 2.4 居住地域・住宅（問6～問8）

【問6】 あなたの現在お住まいの地域をお答えください。＜単一回答＞

- 御荘地域（32.5%）、城辺地域（31.8%）で全体の6割強を占め、一本松地域（18.3%）、西海地域（10.0%）、内海地域（7.3%）と続いています。各地域から回答が得られており、地域バランスは概ね確保されています。

選択肢	回答数	割合
内海地域	108	7.3%
御荘地域	481	32.5%
城辺地域	470	31.8%
西海地域	148	10.0%
一本松地域	271	18.3%

※n=1,478（無回答6）

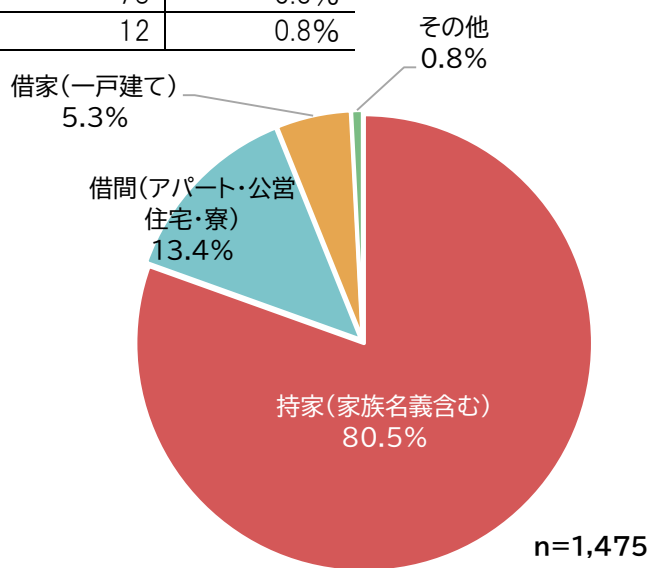


【問7】現在のお住まいの形態をお答えください。＜単一回答＞

- 住宅形態は持家（家族名義含む）が 80.5%と大多数を占めています。一方、借間（アパート・公営住宅・寮）は 13.4%、借家（一戸建て）は 5.3%であり、賃貸住宅の選択肢が限られている可能性がうかがえます。若年層や移住者向けの住宅供給についても今後の検討課題といえます。

選択肢	回答数	割合
持家（家族名義含む）	1,187	80.5%
借間（アパート・公営住宅・寮）	198	13.4%
借家（一戸建て）	78	5.3%
その他	12	0.8%

※n= 1,475（無回答 9）

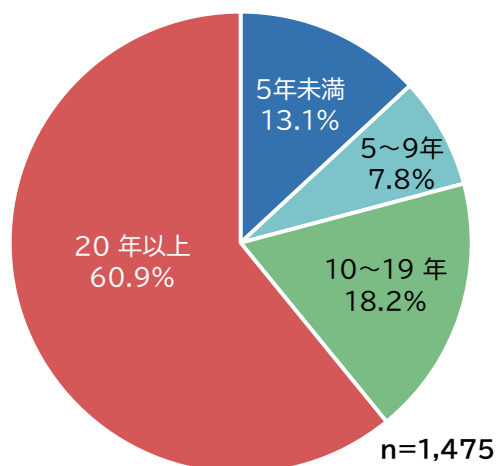


【問8】現在のお住まいにどのくらい住んでいますか。＜単一回答＞

- 居住年数は 20 年以上が 60.9%を占めており、長期居住者が回答の中心となります。

選択肢	回答数	割合
20 年以上	898	60.9%
10～19 年	269	18.2%
5～9 年	115	7.8%
5 年未満	193	13.1%

n=1,475（不明・無回答 9）



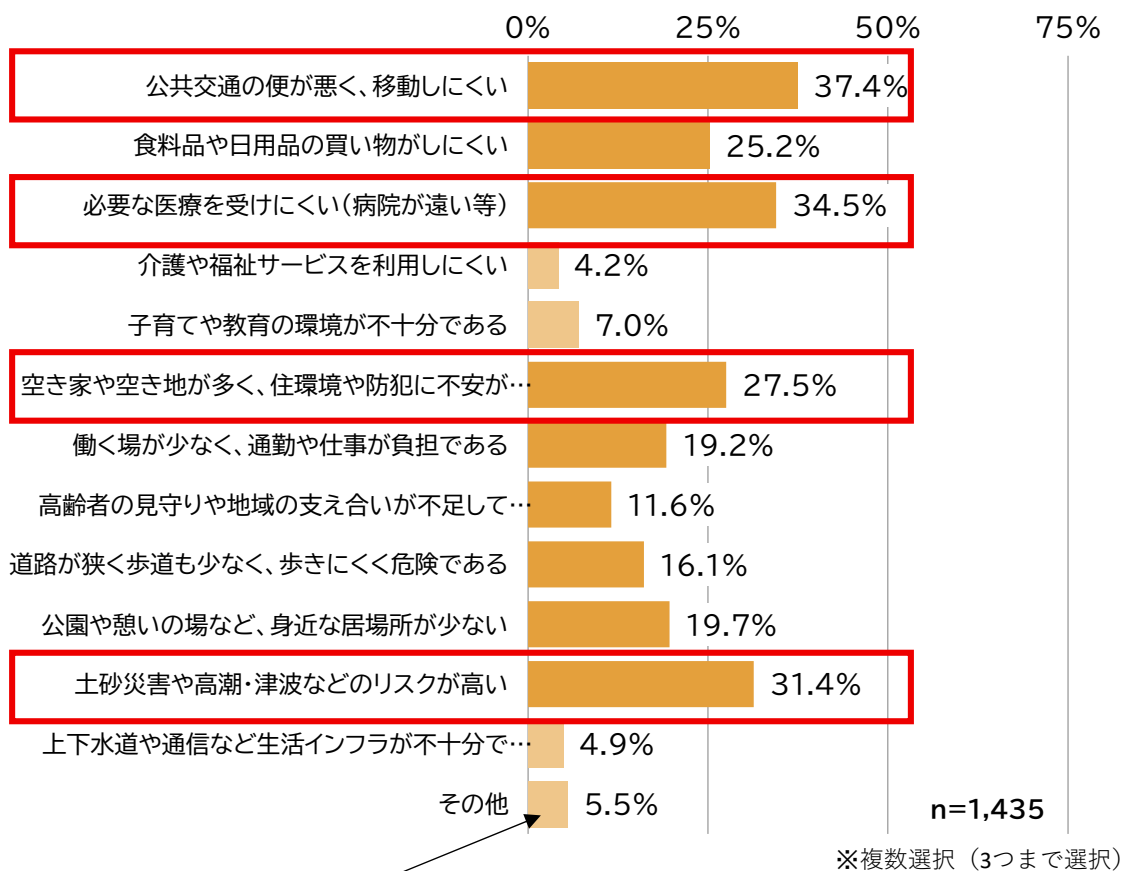
### 3. 生活環境の不便・不安（問9）

【問9】あなたのお住まいの地区で特に不便・不安に感じることをお答えください。＜複数回答＞

- 居住地区で特に不便・不安に感じることに、3 つまでの選択で回答を求めました。
- 公共交通と医療アクセスが上位を占めており、住民の日常生活における主要な課題であることがうかがえます。
- 災害リスクへの不安も約 3 割が挙げており、防災対策の必要性が示されています。また、空き家問題は住環境・防犯の両面から懸念されており、公園・居場所の不足や就労環境への不満も 2 割前後の回答を得ています。

順位	選択肢	回答数	割合
1	公共交通の便が悪く、移動しにくい	537	37.4%
2	必要な医療を受けにくい（病院が遠い等）	495	34.5%
3	土砂災害や高潮・津波などのリスクが高い	450	31.4%
4	空き家や空き地が多く、住環境や防犯に不安がある	395	27.5%
5	食料品や日用品の買い物がしにくい	362	25.2%
6	公園や憩いの場など、身近な居場所が少ない	282	19.7%
7	働く場が少なく、通勤や仕事が負担である	276	19.2%
8	道路が狭く歩道も少なく、歩きにくく危険である	231	16.1%
9	高齢者の見守りや地域の支え合いが不足している	166	11.6%
10	子育てや教育の環境が不十分である	100	7.0%
11	上下水道や通信など生活インフラが不十分である	71	4.9%
12	介護や福祉サービスを利用しにくい	60	4.2%
13	その他	79	5.5%

※3 つまで選択（n=1,435、複数回答）（無回答 49）



【自由記述にみる主な意見】

街灯・防犯灯の不足、獣害（猿・イノシシ・鹿・ハクビシン等）への不安、車依存と将来の免許返納への懸念、若者向けアパートの不足・老朽化、図書館の不在などが挙げられています。特に、現時点では車で不便はないが、運転できなくなった際の不安を訴える声が多く、将来の生活持続性への懸念が広く共有されていることがうかがえます。

転居したい理由(2つまで選択)

病院・医療機関が少なく不安だから	33.1%
買い物等の日常生活が不便だから	27.8%
災害（地震、津波、大雨）が心配だから	18.9%
町内の仕事（雇用）の場が少ないから	16.2%
地元（前住居地、出生地）に戻りたいから	11.9%
レジャー（娯楽施設）が少ないから	11.6%
地域の行事や近所づきあいが面倒だから	11.2%
もつとぎやかなまちに住みたいから	8.7%
通勤・通学に不便（遠い）だから	8.0%
その他	7.5%
住居や家賃で適当な物件がないから	5.5%
教育環境に不満があるから	4.3%
福祉・介護サービスが充実していないから	2.9%
子育て環境に不満があるから	2.2%
無回答	7.2%

総合計画の住民アンケート調査（令和7年）における定住意向の転居理由の上位（医療 33.1%、買い物 27.8%、災害 18.9%）とも同様の傾向を示しており、住民の課題認識に一貫性があることがうかがえます。

出典：第3次総合計画 後期基本計画（素案）

## 自由記述にみる主な意見（生活環境の不便・不安） [1/2]

※満足・不便、不安はないといった回答は除く

・夜の街灯が少なく、暗いです。
・買い物、病院、学校・仕事などすべてにおいて遠い
・働く場所がない
・町道が狭く、離合やUターンが出来ない
・地域活力の低下
・存在そのものが不便
・図書館の充実
・高速道路が通っていない
・耕作放棄地がありすぎてもったいない
・公園や憩いの場など、身近な居場所が少ない
・街灯が少ない
・家では下水道が完備されておらず、授業などで話が出た時に後ろめたい気持ちになる。
・運転が危険な人が多い
・若い人達が住めるようなアパートなどが少ない。あったとしても古すぎる。全然手入れもせず、そんな所に誰が住むのか。リノベーションでもするべき
・老人に対しての対策ばかりに目が行き、必要な医療が受けれる病院がない。南宇和病院があるが、外科が無ければ成人が生活しにくいのではないかと。老人と子供の対策ばかりで働く人には住みやすいとは言えないと思う。
・役場の対応が不満
・役場以外働く場が少ない
・道が狭く、救急車が入りにくい集落がある
・御荘支所も近く、警察・スーパーも2分位の所にあり生活しやすい。医院・病院も近く有難いと思う
・防犯灯が少ない(街灯)
・文化的行事(祭り)が縮小し、楽しみや地域の活気が減少してきていること。高齢者等情報不足で詐欺などよからぬ人にうっかり家族の情報を与えてしまうこと。貧困がわかりづらく、共助の手がさしのべにくいこと
・広い歩道があるが、古いため雑草で歩きづらい
・病院の待ち時間を改善して欲しい
・バイク利用の事が多いのだが 工事の跡の僅かな境目がタイヤに障りハンドルを取られることが多い。仕方ないのかも知れないとも思うが 改善できたら嬉しい。
・野良猫が多く排泄物が多くて大変困っている。環境に悪い。環境衛生課がもっと動いて欲しい
・ネットワークが弱すぎて話にならない
・寝たきりで認知症もあり解答できません
・内科以外の専門分野の病院が希少で不安である
・隣家の飼い猫に野良猫が集まり、自宅の敷地内へのフン害に困っている
・図書館がない
・土砂災害が心配
・特にという事は無いが、不便かな。年配の方達への言葉を聞くより、若い方達(中高生)や都会に出て行った方達の言葉を聞いて欲しい
・道路はあるが、歩道が狭くデコボコで歩きにくく危険である
・地人名義の土地から張り出した木々の枝等が道(町道)に張り出し危険。区長を通じ町にお願いしているのだから一向に進まない。迂回路もない。以前は救急車や宅配の箱型2トン車も入っていたが、ここ数年入ってこれない。デイサービスの車は無理して入ってくるが気の毒でならない
・地区に食料品店が無い。あいなんバスの便は少ない(利用者も少ないと思います)
・タクシー券をもらっていますが、タクシーが乗れなくて順番待てない。一般の人に運転してもらい500円あげれば早い。NHK でやってみましたよ

## 自由記述にみる主な意見（生活環境の不便・不安）[2/2]

※満足・不便、不安はないといった回答は除く

・タクシーが利用しづらい(タクシーがすぐつかまらない)
・倒れた時、呼んでも叫んでも家が離れているので不安
・生活するのに不自由は感じないが社会参加がしにくい
・食料品や日用品の店舗が一部地域に集中していて、車が運転出来なくなると買物に困る。スーパーの移動販売車を支援し補助して欲しい
・食料品等を買うスーパーがない。コンビニは商品が高い、品数が少ない
・猿などの出没(猫も)
・猿が出て家庭菜園を荒らす
・猿・イノシシ・鹿他作物に害をしている
・作業場に住んでいるので町の放送が入らない
・高齢者の運転(遅すぎたり、脇見、急な飛び出しが多い)
・交通の便が悪い
・現在は車の利用が出来ているが、これからは交通・買物等不十分な事になる事があると思う
・現在は車が運転できており、特に不便はないも、数年後(車が運転できなくなった時)不便・不安を感じると思われる
・獣害対策を。ハクビシンが屋根裏に侵入する。ご近所でもフン尿の被害。儀容者に対策・清掃消毒頼むと15万円支払い。果物果菜類が次々盗られ、生きがいも失われる。猿に荒らされるばかりでスイカ作りをあきらめる方も
・車の運転が出来なくなるととても不便になります
・車に乗れる間は特に不便はなし
・車で移動出来るので今の所不便はない
・街灯がほしい
・街灯が一つもない
・街灯が少ない
・街灯が少ない
・大分県の火事を見て、空き家を壊して空き地にしたい方が良かった。町の補助で空き家をどんどん無くして欲しい
・インフラや福祉を含めてこの場所に永住できるのかどうか分からない
・色々あるけれど愛南町よくやっていると思う
・今は何とか暮らせているが、物価も高くなり、年金暮らしに不安が。もしかして、今後は福祉サービスを強化すべきかとも思います
・今現在、車の運転が出来るので不便とは思っていませんが、これから年を重ねると不安を感じるようになると思います
・一年間の区費の高い地域は2.4万安い地区3千円と違いすぎる。非正規雇用が多く、結果将来の年金額も低い。若者が田舎離れする理由はそれが主。敬老祝金や入学時のランドセル配布など意味があるのか？無駄遣いしないで賢く税金を使ってほしい。フレッシュ本松は店内が狭く、トイレももっと充実させて、駐車場も広くして観光客が入りやすいように変えるべき。売り上げも上がる。夕方6時に閉店(その前から閉店準備中)は早い
・医者技術・知識が低く、最終的に宇和島・松山となる。動物、鳥による被害が大きい。作物が作りにくい
・家の前の溝がつまっている
・家が老成化しても解体に費用がかかり壊せない。買いものが不便。車を必要とし、老人はますます孤立している。茶封筒のバーコード部分に個人宛がわかる仕組みになっているのでは？
・家が海のそばの為夜中～明け方まで釣り人や車の音がうるさくて睡眠に支障が出て困る事が多い
・明き家が多く、倒壊の危険があり雑賀時に避難の妨げになりそう
・20代30代のこれから地域を担う年代の職場がない。合わせて70才まで働きたいが職場がない

#### 4. 満足度・重要度評価（問 10）

【問 10】「あなたのお住まいの地区」の現在の環境についての「満足度」と今後のまちづくりにおける「重要度」をお伺いします（各項目の満足度と重要度を5段階で評価してください）。

- 医療サービスは重要度が最も高く（4.40）、満足度との差（ギャップ 1.65）も全項目中最大となっており、優先的な対応が求められる課題です。
- 公共交通の満足度は全項目中最も低く（2.57）、改善へのニーズが高いことがうかがえます。
- 景観・自然環境は満足度が重要度を上回る唯一の項目（ギャップ-0.07）であり、愛南町の強みとして保全が求められる資源といえます。
- 住環境の快適性は満足度が比較的高く（3.51）、現状の水準を維持していくことが基本となります。

項目	満足度	重要度	ギャップ
イ:医療サービスの利便性	2.76	4.40	1.65
オ:公共交通（バス等）の利便性	2.57	4.06	1.48
ケ:防災・減災対策	2.98	4.27	1.29
カ:道路環境（安全性・歩きやすさ）	2.94	3.96	1.03
ソ:観光・交流産業の振興	2.81	3.81	0.99
コ:防犯対策・交通安全	3.09	4.08	0.98
ア:買物・日常サービスの利便性	3.12	4.10	0.98
ウ:高齢者福祉・介護サービス	3.14	4.06	0.92
ス:地区のにぎわい	2.81	3.70	0.89
エ:子育て・教育環境	3.10	3.98	0.88
セ:文化・地域交流の場	2.95	3.62	0.67
サ:公園・緑地・広場	2.98	3.55	0.57
キ:生活インフラ（上下水道・通信）	3.35	3.92	0.57
ク:住みやすさ・住環境の快適性	3.51	3.95	0.44
シ:景観・自然環境の豊かさ	3.70	3.63	-0.07

※15 項目について 5 段階で満足度と重要度を評価した結果を、ギャップ（重要度-満足度）の大きい順に整理しています。

<満足度・重要度の算出方法>

満足度及び重要度は、それぞれ5段階評価の回答結果を加重平均により算出しています。

満足度：不満=1、やや不満=2、どちらでもない=3、まあ満足=4、満足=5

重要度：非常に重要=5、やや重要=4、どちらでもない=3、あまり重要でない=2、重要でない=1

加重平均 =  $\Sigma$ （選択肢の値×回答数）÷有効回答数（無回答を除く）

ギャップ = 重要度平均 - 満足度平均

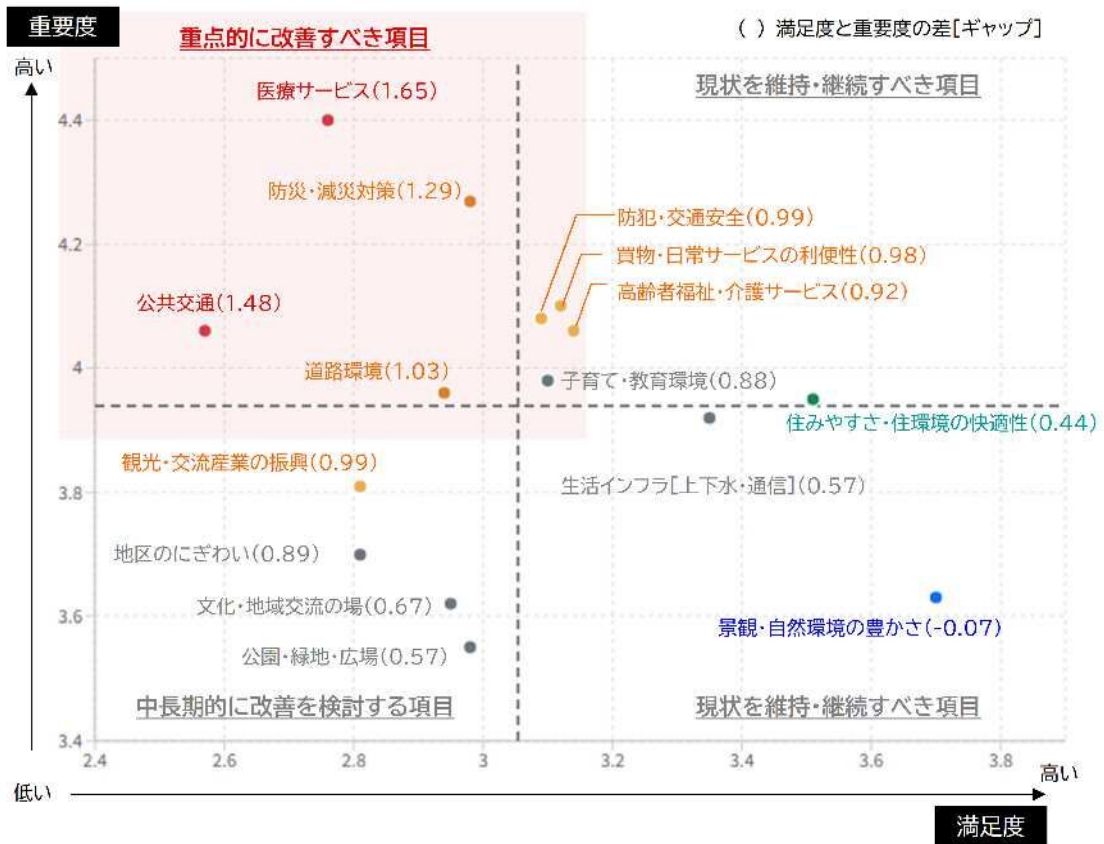
（算出例）医療サービスの場合

満足度 =  $(189 \times 1 + 468 \times 2 + 369 \times 3 + 334 \times 4 + 80 \times 5) \div 1,440 = 2.76$

重要度 =  $(718 \times 5 + 471 \times 4 + 107 \times 3 + 25 \times 2 + 9 \times 1) \div 1,330 = 4.40$

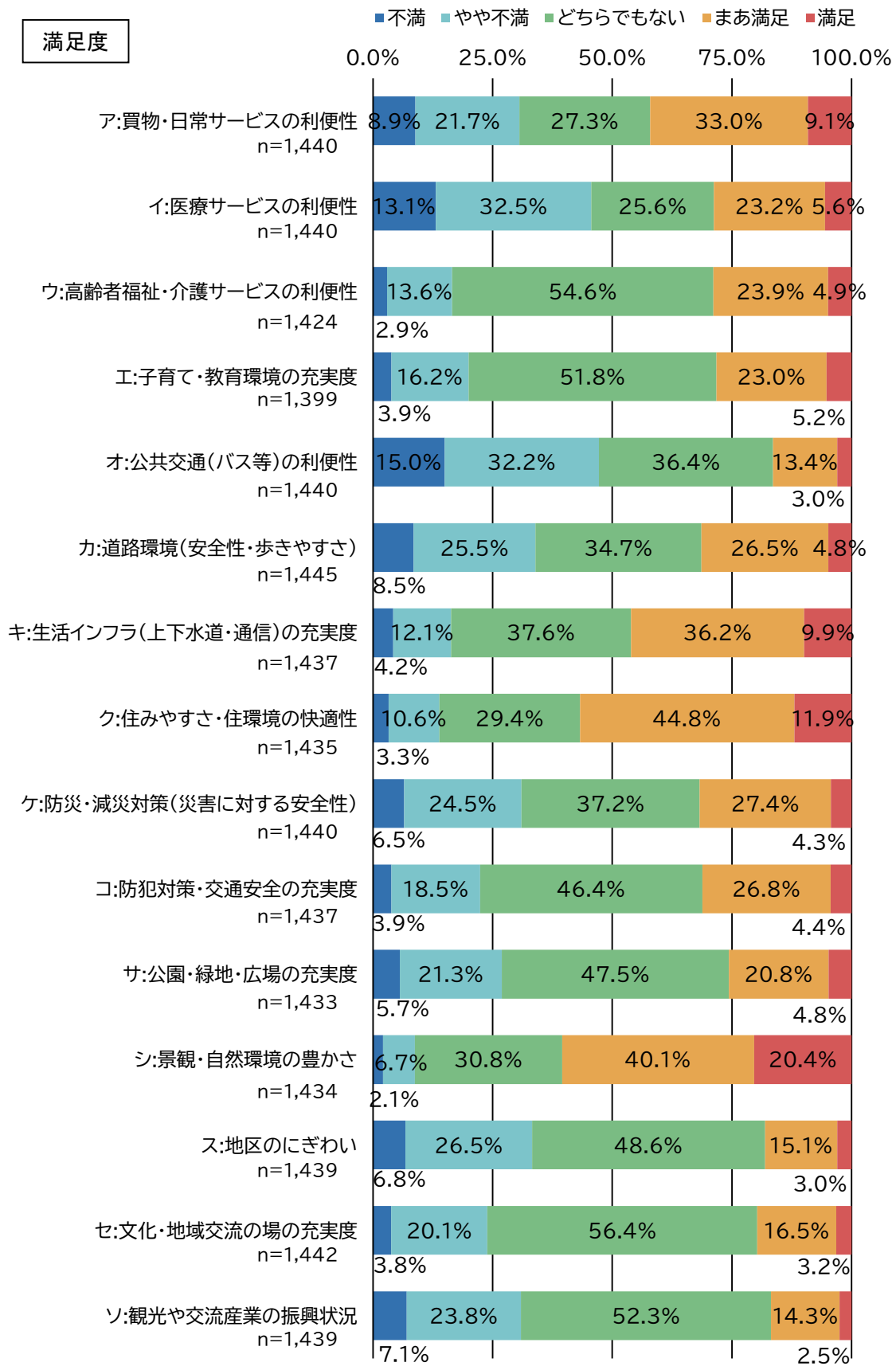
ギャップ =  $4.40 - 2.76 = 1.65$

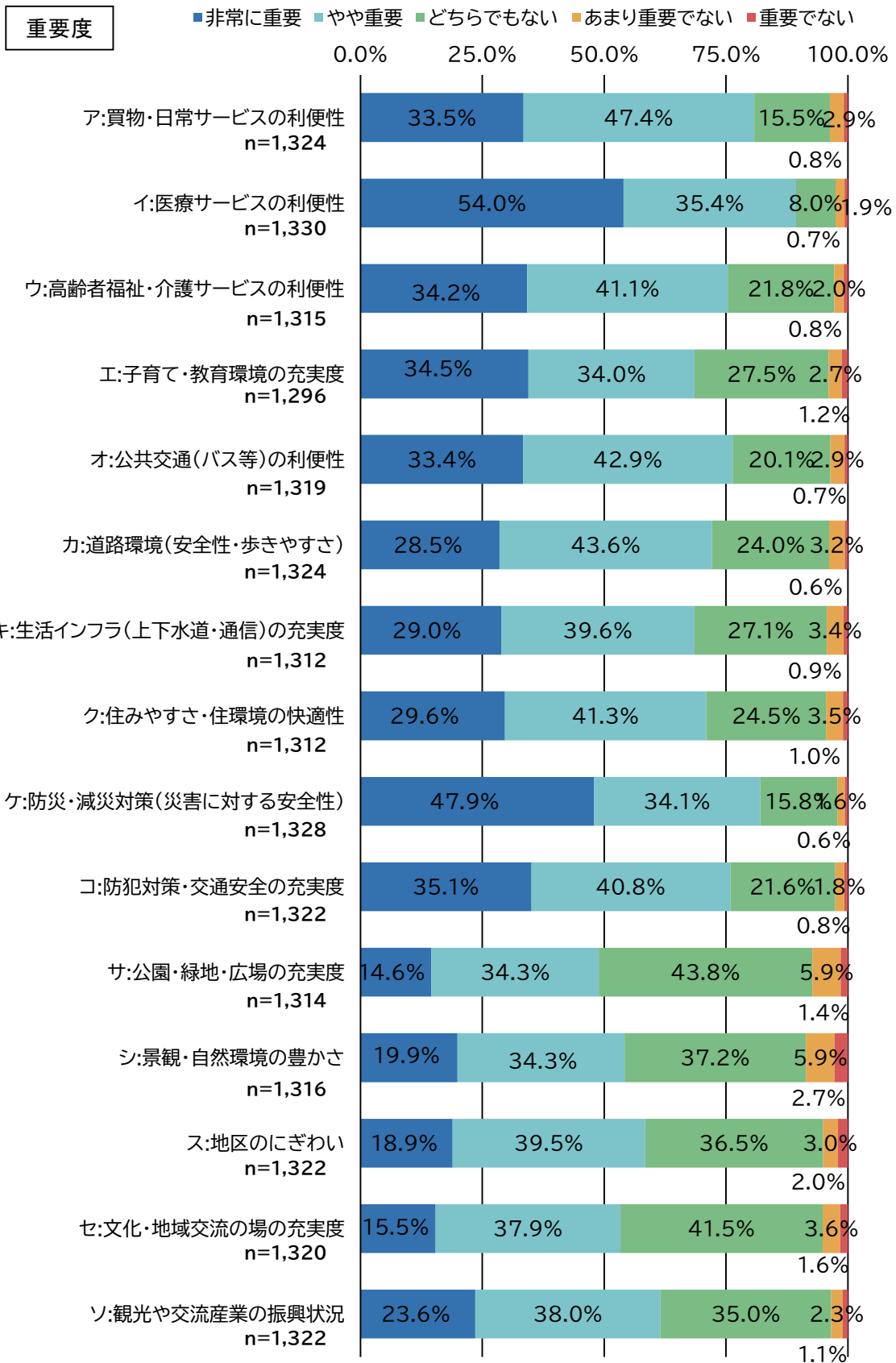
※注）満足度と重要度で有効回答数（分母）が異なります。これは無回答数が項目・評価軸ごとに異なるためであり、重要度のほうが無回答が多い傾向にあります（満足度 n≒1,434~1,445、重要度 n≒1,296~1,330）。



重要度－満足度分析 (CS 分析) CS ポートフォリオ分析

満足度



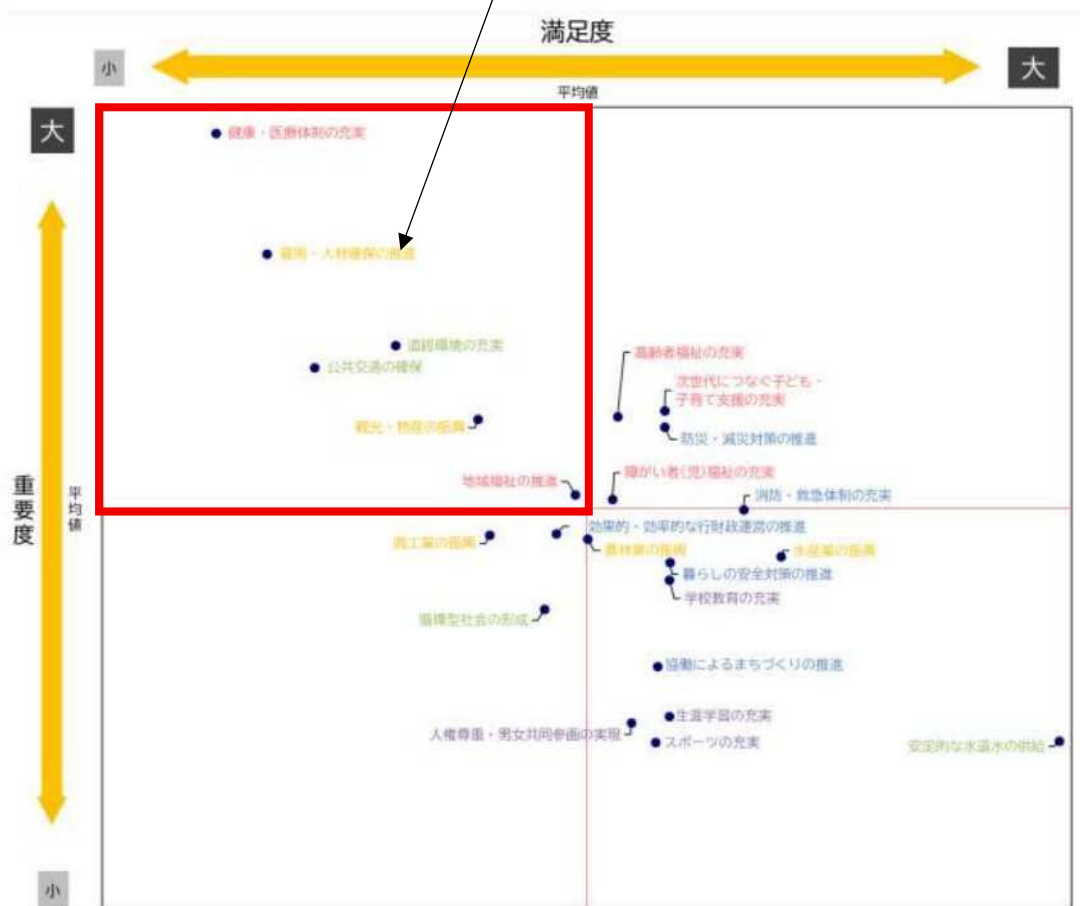


＜総合計画住民アンケート調査（R7）との比較＞

総合計画の住民アンケート調査（令和7年）においても、「健康・医療」「雇用・人材確保」「公共交通」「道路環境」は重要度が高い一方で満足度が低い評価となっており、本調査の結果と同様の傾向が見られます。

2. まちづくり分野別の満足度・重要度

まちづくり 23 分野について、5段階による満足度・重要度の分布は、下図のとおりです。  
 「健康・医療」「雇用・人材確保」「公共交通」「道路環境」は、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い評価となっています。  
 ※まちづくりの23分野は、第3次愛南町総合計画の施策単位によるものです。



出典：愛南町まちづくり住民アンケート（2025年）

【分布図の作成に当たって】

満足度は、「満足である」+ 5点、「どちらかといえば満足である」+ 4点、「普通」- 3点、「どちらかといえば不満である」+ 2点、「不満である」+ 1点としています。  
 重要度も同様に「力を入れてほしい」+ 5点、「できれば力を入れてほしい」+ 4点、「普通」+ 3点、「あまり力を入れる必要はない」+ 2点、「力を入れる必要はない」+ 1点としています。

出典：愛南町 第3次総合計画 後期基本計画（素案）

## 5. 定住意向（問 11・問 12）

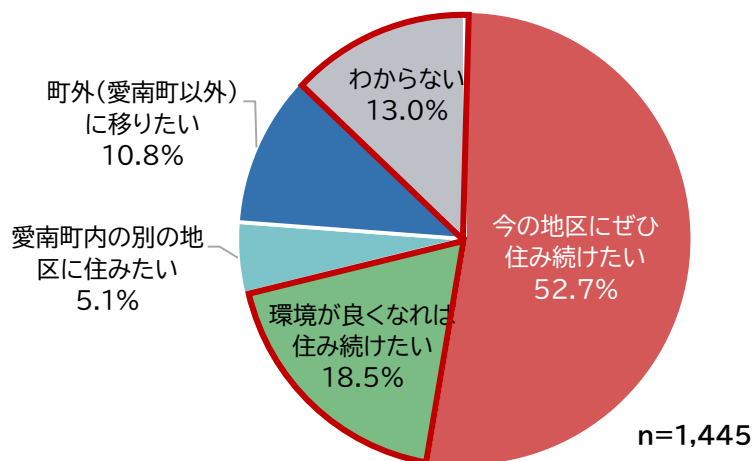
### 5.1 定住意向（問 11）

【問 11】今のお住まいの地区に、今後も住み続けたいですか。＜単一回答＞

- 「今の地区にぜひ住み続けたい」が 52.7%で過半数を占めました。
- 「環境が良くなれば住み続けたい」18.5%を含めると、71.1%の方が定住意向を持っています。一方、「町外に移りたい」は 10.8%、「わからない」は 13.0%となっています。

項目	回答数	割合	備考
今の地区にぜひ住み続けたい	761	52.7%	
環境が良くなれば住み続けたい	267	18.5%	
愛南町内の別の地区に住みたい	73	5.1%	条件付き定住
町外（愛南町以外）に移りたい	156	10.8%	
わからない	188	13.0%	動向注視

※n=1,445（無回答 39）



- 「わからない」層（13.0%）は、老後の不安や人口減少、まちづくりの方向性など複合的な不確実性を抱えた層として捉えることができます。「環境が良くなれば住み続けたい」層（18.5%）と合わせると約 3 割が、今後の施策の展開によって定住・転出の判断が左右される可能性があり、生活環境の改善が定住促進における重要な要素であることがうかがえます。

## 5.2 定住意向の理由（問 12）

【問 12】 その理由・条件＜自由回答＞

### （1）住み続けたい理由

- 「今の地区にぜひ住み続けたい」と回答した方のうち、自由記述のあった 495 名の回答を分類した結果は以下のとおりです。

理由（分類）	回答数	割合	主な回答例（自由記述）
住み慣れ・愛着	217	43.8%	「住み慣れた場所」「生まれ育った地域」「故郷」「愛南町が好き」
現状満足	116	23.4%	「特に不満がない」「住みやすい」「買い物に便利」「公共施設が近い」
自然環境の魅力	53	10.7%	「自然が豊か」「静かで住みやすい」「海が近い」「気候が温暖」
持ち家・土地	41	8.3%	「持ち家がある」「先祖代々の土地」「家を建てた」
地域のつながり・人間関係	41	8.3%	「近隣住民との関係が良い」「人が温かい」「コミュニティが良好」
仕事・就労	11	2.2%	「町内で働いている」「農業に携わる」「自営業」
住替え制約・転居困難	9	1.8%	「高齢で他に移れない」「経済的に転居困難」
その他・家族の事情	7	1.4%	—

※ n=495（理由無回答 266 を除く）

- 「住み慣れ・愛着」が 43.8%と最も多く、総合計画アンケートにおける「住み慣れているから」（74.7%）と同様の傾向が見られます。「現状満足」（23.4%）を合わせると約 3 分の 2 に達しています。
- ただし、現状に満足と回答した方のなかにも、将来への不安や災害リスク、免許返納後の懸念といった条件付きの声が含まれており、現時点での満足が将来にわたって維持されるとは限らない点に留意が必要です。
- また、「地域のつながり・人間関係」が 8.3%を占めており、近隣関係の良好さや地域コミュニティの温かさが定住の重要な要因となっていることがうかがえます。

## (2) 環境改善の条件

- 「環境が良くなれば住み続けたい」と回答した方のうち、自由記述のあった 133 名の回答を分類した結果は以下のとおりです。

理由（分類）	回答数	割合	主な回答例（自由記述）
交通・アクセスの改善	35	26.3%	「高速道路の完成」「公共交通機関の充実」「免許返納後の移手段」
医療・介護・福祉等の改善	18	13.5%	「医療機関の充実」「総合病院として機能していない」「産婦人科がほしい」
買い物・生活利便性の改善	11	8.3%	「もう少しお店があれば」「飲食店がほしい」
住環境の改善	11	8.3%	「空き家の管理」「雑草対策」「防犯面の改善」
災害対策の充実	11	8.3%	「南海トラフを含めた災害対策」「防潮堤・避難路の整備」
インフラ整備の推進	7	5.3%	「道路の維持管理」「街灯設置」「下水道・通信環境」
賑わい・地域振興	5	3.8%	「町が盛り上がれば」「人口増加」
教育・子育ての充実	4	3.0%	「子育て環境の充実」「近くの小学校も閉校」
娯楽・遊び場の充実	4	3.0%	「若者の遊ぶ場所」「公園の充実」
就労環境	4	3.0%	「仕事場が少ない」
現状維持（記述は肯定的）	18	13.5%	「住み慣れているから」「自然が豊か」
その他	5	3.8%	—

※ n=133（理由無回答 134 を除く）

- 交通・アクセスの改善が 26.3%と最も多く、医療・介護・福祉等の改善（13.5%）が続いています。満足度・重要度評価（問 10）の結果と同様の傾向を示しています。特に免許返納後の移手段への不安が多く、高齡化の進行に伴い今後さらに切実な課題となることが見込まれます。
- また、災害対策の充実（8.3%）が一定の割合を占めており、津波・土砂災害への不安が定住条件にも影響していることがうかがえます。

本調査では 18.5%が「環境改善」を条件に挙げており、生活環境の向上が定住促進における重要な要素であることがうかがえます。

総合計画アンケート（令和 7 年）では定住意向が 78.2%（「ずっと住み続けたい」47.0% + 「当分の間住み続けたい」31.2%）であり、2021 年の 86.2%から 8.0 ポイント低下しています。設問設計が異なるため単純な比較はできないものの、環境改善が進まないことが定住意向を下げる要因である可能性があり、低下傾向がみられる点には留意が必要です。

### (3) 町内移動の理由

- 「愛南町内の別の地区に住みたい」と回答した 73 名のうち、自由記述のあった 55 名の回答を分類した結果は以下のとおりです。

理由（分類）	回答数	割合	主な回答例（自由記述）
災害リスク（津波等）	14	25.5%	「津波が心配」「浸水区域に住んでいる」 「津波のこない安全な場所に住みたい」
交通状況・アクセス	11	20.0%	「車に乗れなくなったら買い物や病院が不便」 「バスの便が少ない」
買い物・生活利便性	8	14.5%	「買い物が不便」「店が遠い」 「一本松地域では買い物がしづらい」
その他の生活・住環境	6	10.9%	「家が古くて壊れそう」 「遊べるところがない」
進学	3	5.5%	「進学するから」
職場との距離	3	5.5%	「職場に近いところがいい」
家族の事情	3	5.5%	「親の家がある」
人間関係・地域の慣習	2	3.6%	「人間関係が難しい」「因習がひどい」
その他	5	9.1%	—

※ n=55（理由無回答 18 を除く）

- 災害リスク（津波等）が 25.5%と最も多く、交通状況・アクセス（20.0%）、買い物・生活利便性（14.5%）が続いています。
- 津波浸水想定区域からの安全な場所への移転ニーズが主な要因ですが、交通・買い物の利便性を求める声も多く、複合的な理由で町内移動を希望していることがうかがえます。

#### (4) 町外転出の理由

- 「町外（愛南町以外）に移りたい」と回答した 156 名のうち、自由記述のあった 135 名の回答を分類した結果は以下のとおりです。

理由（分類）	回答数	割合	主な回答例（自由記述）
交通事情・広域アクセス	28	20.7%	「交通の便が悪い」「空港が遠い」 「高速道路がない」「どこに行くにも遠い」
町外志向・都市部への憧れ	16	11.9%	「都会で暮らしてみたい」「田舎すぎる」 「にぎやかな所が好き」
買い物・生活利便性	12	8.9%	「買い物が不便」 「全てにおいて利便性に欠ける」
医療不安	11	8.1%	「病院がない」「手術できる病院がない」 「産婦人科がない」
人口減少・過疎化への不安	11	8.1%	「人口減少で町の機能が崩壊する」 「過疎化が進むため」「活気がない」
就労環境・働き先	8	5.9%	「働くところが少ない」「低賃金」 「仕事を選びにくい」
老後の生活不安	7	5.2%	「車に乗れなくなったら生活できない」 「年を取ると不便」
娯楽・遊び場の不足	6	4.4%	「遊ぶ場所がない」 「若者向けの施設がない」「つまらない」
災害リスク	6	4.4%	「災害が不安」 「津波のリスク」
家族の事情	6	4.4%	「子供が町外にいる」 「実家に帰りたい」
地域の慣習・人間関係課題	6	4.4%	「狭いコミュニティ」「過干渉」 「協調性のない人が多い」
教育・子育て環境	3	2.2%	「子どもの選択肢が限られる」 「子育て支援が不十分」
進学	4	3.0%	「大学に進学するから」
その他	11	8.1%	住宅問題、行政への不満等

※ n=135（理由無回答 21 を除く）

- 交通事情・広域アクセスが 20.7%と最も多くなっています。空港や高速道路へのアクセスの悪さなど、広域的な移動の不便さが転出の主な要因となっています。次いで町外志向・都市部への憧れ（11.9%）が続き、都市的な生活環境を求める価値観に基づく転出希望も見られます。
- 買い物・生活利便性（8.9%）、医療不安（8.1%）、人口減少・過疎化への不安（8.1%）も一定の割合を占めています。また、地域の慣習・人間関係の課題（4.4%）も挙げられています。地域社会の閉鎖性に対する不満が一部にみられ、移住者や若い世代にとっての定住の障壁となりうる点に留意が必要です。
- なお、高校生では町外転出希望が約半数を占めています。理由は、進学の影響の他、娯楽施設や商業施設の不足、希望する職種の不在なども挙げられており、若い世代の課題認識には成人層とは異なる側面があることに留意が必要です。

<総合計画住民アンケート調査（R7）との比較>

今回実施したアンケート調査の結果は、総合計画アンケートにおける転居理由（医療 33.1%、買い物 27.8%、災害 18.9%）とも同様の傾向を示しており、生活サービスの不足が転出の主な要因であることがうかがえます。

住み続けたい理由(2つまで選択)		転居したい理由(2つまで選択)	
住み慣れている（ふるさと）から	74.7%	病院・医療機関が少なく不安だから	33.1%
町内に仕事・職場があるから	21.4%	買い物等の日常生活が不便だから	27.8%
自然が豊かだから	20.8%	災害（地震、津波、大雨）が心配だから	18.9%
隣近所の人間関係が良いから	14.4%	町内の仕事（雇用）の場が少ないから	16.2%
安心・安全なまちだから	13.7%	地元（前住居地、出生地）に戻りたいから	11.9%
住居や家賃で適当な物件があったから	6.7%	レジャー（娯楽施設）が少ないから	11.6%
なんとなく好きなのだから	5.7%	地域の行事や近所づきあいが面倒だから	11.2%
買い物等の日常生活が便利だから	4.9%	もっとにぎやかなまちに住みたいから	8.7%
その他	4.7%	通勤・通学に不便（遠い）だから	8.0%
通勤・通学に便利（近い）だから	4.1%	その他	7.5%
病院・医療機関が充実しているから	1.6%	住居や家賃で適当な物件がないから	5.5%
子育て環境が充実しているから	1.4%	教育環境に不満があるから	4.3%
福祉・介護サービスが充実しているから	1.4%	福祉・介護サービスが充実していないから	2.9%
教育環境が充実しているから	0.1%	子育て環境に不満があるから	2.2%
無回答	7.2%	無回答	7.2%

出典：愛南町 第3次総合計画 後期基本計画（素案）

本調査の結果を総合計画の住民アンケート調査（令和7年）の結果と比較すると、以下の共通点が見られます。

いずれの調査においても、医療・公共交通・防災が住民にとっての主要な課題となっています。総合計画の住民アンケート調査では、住みやすいとする肯定的な回答の割合が2021年の71.9%から64.7%へと7.2ポイント低下しており、住民の生活実感が厳しさを増している可能性がうかがえます。

項目	住民アンケート調査（R7）	MP アンケート（本調査）
定住意向	78.2%（2021年比 8.0pt 低下）	71.1%（52.7%+18.5%）
転居理由の上位	医療 33.1%、 買い物 27.8%、 災害 18.9%	交通事情・広域アクセス 災害リスク（津波等） 買い物・生活利便性
住み続ける理由	住み慣れている 74.7%	住み慣れ・愛着 43.8%（最多）
満足度が低い分野	健康・医療、雇用・人材確保、 公共交通、道路環境	医療（2.76）、 公共交通（2.57）、 道路環境（2.94）

(5) 「わからない」の理由

- 「わからない」と回答した 188 名のうち、自由記述のあった 133 名の回答を分類した結果は以下のとおりです。

理由（分類）	回答数	割合	主な回答例（自由記述）
老後・健康・運転不能への不安	23	17.3%	「車に乗れなくなったら不便」 「高齢になった時の利便性次第」 「免許返納後が心配」
今後のまちづくり・生活環境次第	22	16.5%	「病院や買い物の環境が良くなるかどうか」 「高速道路の整備状況次第」 「不便が解消されれば」
先のことはわからない・判断不能	21	15.8%	「先のことはわからない」 「その時にならないとわからない」 「どちらとも言えない」
仕事・進学の都合	14	10.5%	「転勤があるので」「進学で町外に出る」 「仕事がある間は住み続けるが」
人口減少等の状況次第	10	7.5%	「周りに住んでいる人が少なくなったら」 「過疎化が進めば」 「20～30 年後近所に人がいるのか不安」
災害への不安	9	6.8%	「南海トラフ地震が来ると思うと」 「津波浸水地域なので心配」 「被災すれば同じ場所に再建するかわからない」
家族の事情	6	4.5%	「子どもの生活する場所から遠い」 「親の介護で同居を検討」 「両親が他界すれば住む理由がなくなる」
住み続けざるをえない	5	3.8%	「住むしかないのではないか」 「ローンが残っている」 「年齢的に他に移れない」
その他・理由なし	23	17.3%	

※ n=133（理由無回答 55 を除く）

- 「わからない」と回答した層では、「老後・健康・運転不能への不安」（17.3%）と「今後のまちづくり・生活環境次第」（16.5%）がほぼ同率で上位を占めています。免許返納後の移動手段や医療アクセスへの懸念が中心であり、まちの将来像が明確でないことが判断の留保につながっていると考えられます。
- 「人口減少等の状況次第」（7.5%）も一定の割合を占めており、周囲の人口減少・高齢化の進行が定住意向に影響を与えていることがうかがえます。
- また、「住み続けざるをえない」（3.8%）との回答もみられ、積極的な定住意向ではなく、選択肢がないための消極的な定住層の存在が示されています。この層は、生活環境がさらに悪化した場合に転出に転じる可能性があり、定住施策を検討するうえで留意が必要です。

## 6. まちの将来像と都市構造（問 13・問 14）

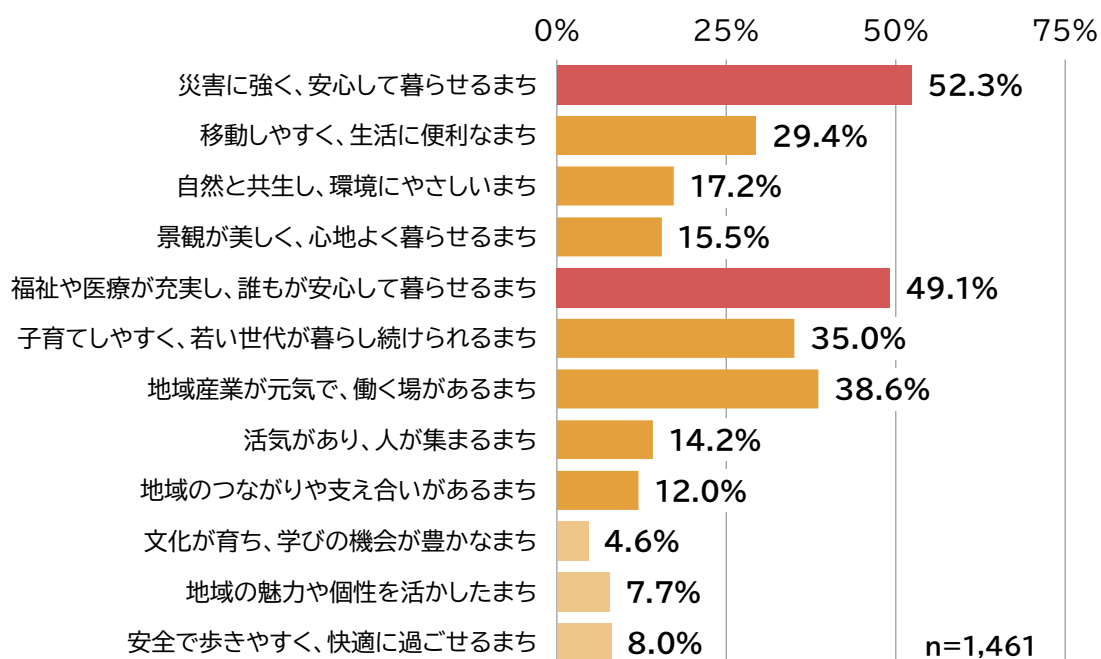
### 6.1 望ましい将来像（問 13）

【問 13】愛南町全体の将来像としてどのようなイメージが望ましいと思いますか。＜複数回答＞

- 「災害に強く、安心して暮らせるまち」が 52.3%と最も多く、「福祉や医療が充実し、誰もが安心して暮らせるまち」（49.1%）が続いており、安全・安心が住民にとって最も重視される価値であることがうかがえます。
- 3 位以下では、「地域産業が元気で、働く場があるまち」（38.6%）、「子育てしやすく、若い世代が暮らし続けられるまち」（35.0%）が挙げられており、地域の持続可能性に対する住民の関心の高さがうかがえます。

選択肢	回答数	割合
災害に強く、安心して暮らせるまち	764	52.3%
福祉や医療が充実し、誰もが安心して暮らせるまち	718	49.1%
地域産業が元気で、働く場があるまち	564	38.6%
子育てしやすく、若い世代が暮らし続けられるまち	512	35.0%
移動しやすく、生活に便利なまち	429	29.4%
自然と共生し、環境にやさしいまち	252	17.2%
景観が美しく、心地よく暮らせるまち	226	15.5%
活気があり、人が集まるまち	207	14.2%
地域のつながりや支え合いがあるまち	176	12.0%
安全で歩きやすく、快適に過ごせるまち	117	8.0%
地域の魅力や個性を活かしたまち	113	7.7%
文化が育ち、学びの機会が豊かなまち	67	4.6%

3 つまで選択（n=1,461、複数回答）（無回答 23）



※複数選択（3つまで選択）

## 6.2 まちの形（問 14）

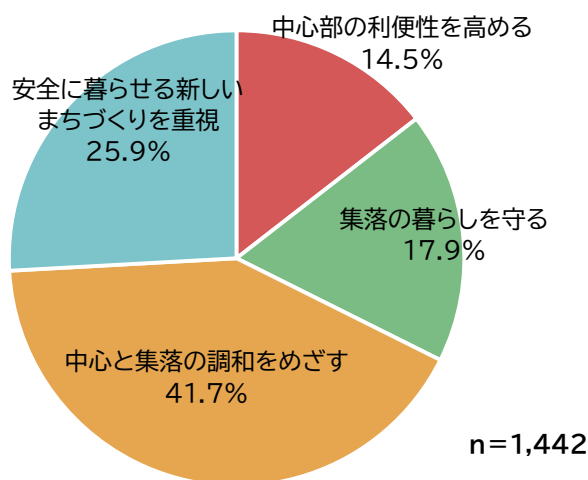
【問 14】愛南町の今後のまちの形（都市のつくり方）として、お考えに近いものをお選びください。

<単一回答>

- 「中心と集落の調和をめざす」が 41.7%と最も多く、拠点集約と集落維持の両立を求める意向がうかがえます。
- この結果は、「中心部の利便性を高める」と「集落の暮らしを守る」の双方を重視する住民意識の表れであり、都市構造の基本方針を検討するうえで重要な視点となります。
- また、「安全に暮らせる新しいまちづくりを重視」が 25.9%と一定の支持を得ており、防災を軸とした都市構造の見直しについても検討の余地があります。

選択肢	回答数	割合	方向性
中心と集落の調和をめざす	602	41.7%	バランス型
安全に暮らせる新しいまちづくりを重視	373	25.9%	防災重視型
集落の暮らしを守る	258	17.9%	集落維持型
中心部の利便性を高める	209	14.5%	拠点集約型

n=1,442（わからない・不明・無回答 42）



**参考：将来都市構造の方向性**

調査結果からは、住民が集落での暮らしの継続を望んでいることがうかがえます。一方で、集落での生活には医療へのアクセス、公共交通の利便性、買い物環境といった面で不便や不安が挙げられています。今後のまちの形については、中心部への機能集約と集落の暮らしの維持の両立を求める意向が最も多く示されています。また、防災を軸とした都市構造の見直しへの関心もうかがえます。

愛媛県が策定した愛南都市計画区域マスタープランでは、御荘・城辺地域の中心市街地に行政・医療・商業等の都市機能と居住機能を集積し、公共交通ネットワークによって周辺集落と結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成を目指すこととされています。

これらを踏まえ、中心拠点の機能集約と集落での居住継続を両立し、集落に住み続けながら必要なサービスにアクセスできる仕組みを備えるとともに、災害リスクへの対応を組み込んだ都市構造の構築が求められます。

○中心拠点	…役場周辺に医療・福祉・交通・防災機能を集約し、町全体を支える
○各集落	…日常生活に必要な機能を維持し、住み慣れた場所での暮らしを継続
○ネットワーク	…生活バス等の交通手段で拠点と集落を結び、アクセスを確保

拠点機能の集約と集落での居住継続の両立を図りつつ、災害リスクへの対応とあわせて、人口減少・高齢化が進むなかでも持続可能な地域づくりを目指すことが、住民意向を踏まえた都市構造の基本的な方向性となります。

- ＜まちづくりの方針＞  
自立と定住促進を支える拠点形成と周辺の良好な土地利用形成
- 生活拠点等のある一定の区域に居住や都市機能の立地を誘導する集約型都市構造の構築によって、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進する。
  - 愛南町役場及び御荘支所を含む一帯の市街地においては、行政、文化、商業等の都市機能と居住機能を集積し、情報発信力を有するコンパクトで効率的な生活拠点の形成を図る。
  - 郊外においては、適正な土地利用規制により、良好な集落環境の維持や自然的環境の維持保全に努める。



図 愛南都市計画区域マスタープラン (愛媛県 平成 30 年 3 月)

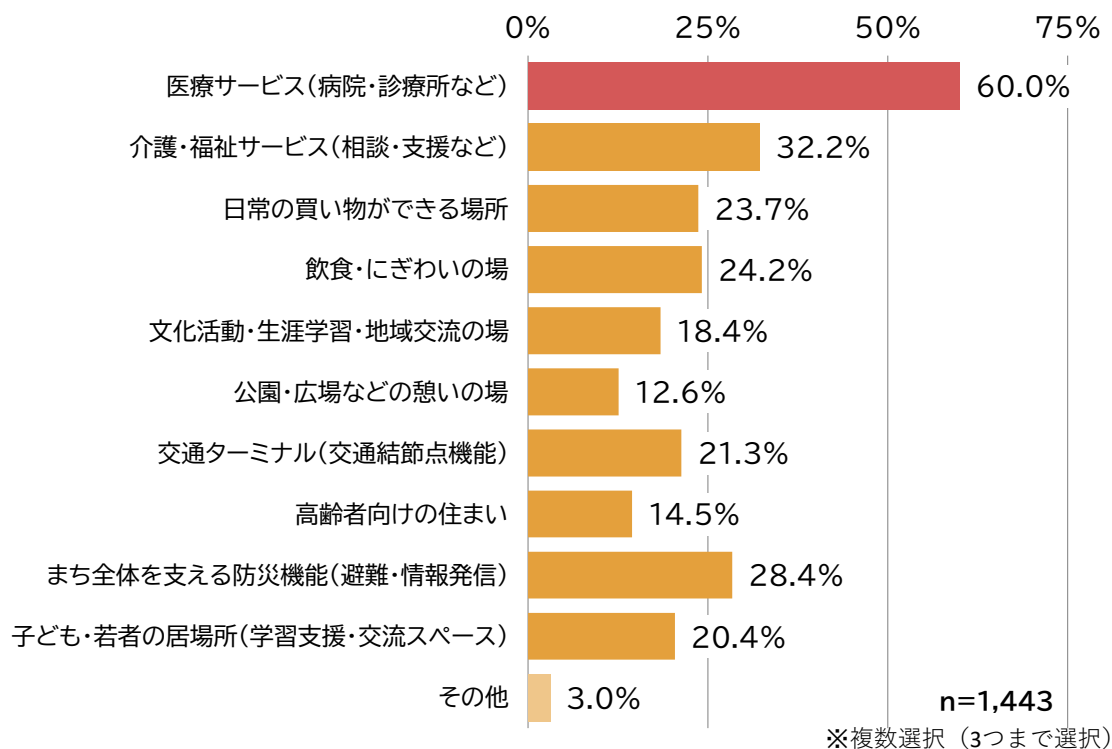
## 7. 役場周辺の都市機能（問 15）

【問 15】愛南町役場周辺において、今後特に充実が必要だと思う機能はどれですか。＜複数回答＞

- 医療サービスが 60.0%と最も高く、役場周辺を医療・福祉・防災の複合拠点として整備することへの期待がうかがえます。
- 交通結節点機能も 21.3%が支持しており、各地域からのアクセス向上と一体的な検討が求められます。
- 自由記述では、役場周辺が津波浸水想定区域にあることへの疑問や図書館・学習施設や産婦人科の設置を求める意見が見られました。

選択肢	回答数	割合
医療サービス（病院・診療所など）	866	60.0%
介護・福祉サービス（相談・支援など）	465	32.2%
まち全体を支える防災機能（避難・情報発信）	410	28.4%
飲食・にぎわいの場	349	24.2%
日常の買い物ができる場所	342	23.7%
交通ターミナル（交通結節点機能）	308	21.3%
子ども・若者の居場所（学習支援・交流スペース）	295	20.4%
文化活動・生涯学習・地域交流の場	266	18.4%
高齢者向けの住まい	209	14.5%
公園・広場などの憩いの場	182	12.6%

※3 つまで選択（n=1,443、複数回答）（無回答 41）



## 8. 土地利用の方向性（問 16）

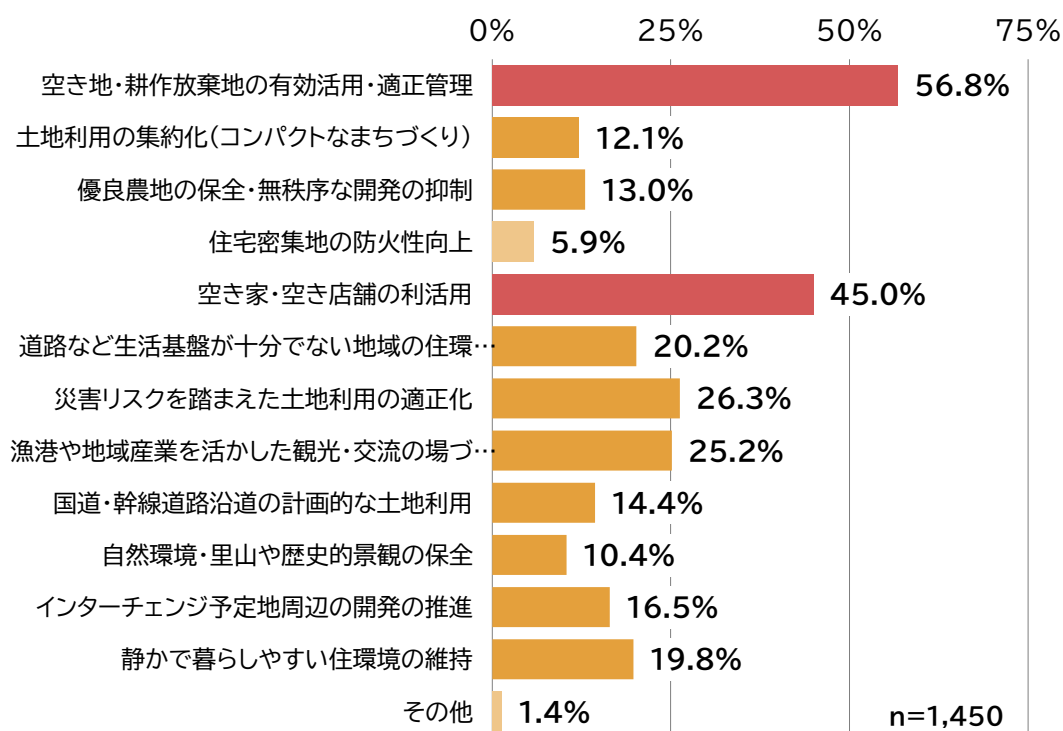
【問 16】愛南町の今後の「土地利用」に関する取組について、特に重要だと思うものはどれですか。

<複数回答>

- 空き地・空き家対策が上位を占め（56.8%・45.0%）、低未利用地の増加が住民にとって身近な課題であることが明確です。
- 「土地利用の集約化（コンパクトなまちづくり）」は 12.1%にとどまっており、住民は「集約化」よりも「空き家・空き地の適正管理・利活用」を優先課題として認識しています。災害リスクを踏まえた土地利用の適正化（26.3%）や、漁港等を活かした観光・交流拠点づくり（25.2%）への関心も高くなっています。

選択肢	回答数	割合
空き地・耕作放棄地の有効活用・適正管理	824	56.8%
空き家・空き店舗の利活用	653	45.0%
災害リスクを踏まえた土地利用の適正化	381	26.3%
漁港や地域産業を活かした観光・交流の場づくり	365	25.2%
道路など生活基盤が十分でない地域の住環境改善	293	20.2%
静かで暮らしやすい住環境の維持	287	19.8%
インターチェンジ予定地周辺の開発の推進	239	16.5%
国道・幹線道路沿道の計画的な土地利用	209	14.4%
優良農地の保全・無秩序な開発の抑制	189	13.0%
土地利用の集約化（コンパクトなまちづくり）	176	12.1%
自然環境・里山や歴史的景観の保全	151	10.4%
住宅密集地の防火性向上	85	5.9%

※3 つまで選択（n=1,450、複数回答）（無回答 34）



※複数選択（3つまで選択）

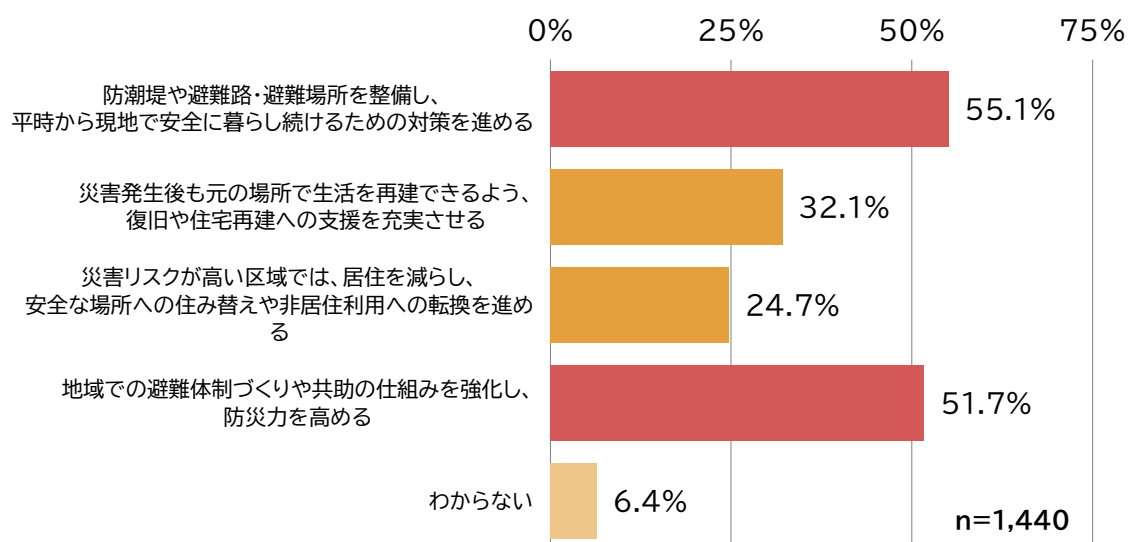
## 9. 災害リスクの高い区域のまちづくり（問 17）

【問 17】津波などの災害リスクが特に高い区域では、今後どの方向性のまちづくりを重視すべきと思いますか。＜複数回答＞

- 現地での安全確保を望む声が過半数（55.1%）を占め、住み慣れた場所での生活継続への強い意向がうかがえます。共助体制の強化も約半数（51.7%）が支持しており、ハード整備とソフト対策の両輪での取組が求められています。
- 住み替え促進は 24.7%にとどまっており、移転を伴う施策については丁寧な合意形成が必要です。
- 津波等リスクが高い区域の方向性は単線ではなく、「現地で安全に」が優勢であるものの「住み替え」も一定層が支持しています。地区条件に応じて、防護・避難体制強化・土地利用転換を組み合わせた複線的な防災まちづくりを検討する必要があります。

選択肢	回答数	割合	方向性
防潮堤や避難路・避難場所を整備し、現地で安全に暮らし続ける	793	55.1%	現地防護
地域での避難体制づくりや共助の仕組みを強化する	745	51.7%	共助強化
災害発生後も元の場所で生活再建への支援を充実させる	462	32.1%	復旧支援
居住を減らし、安全な場所への住み替え・転換を進める	356	24.7%	住替え促進
わからない	92	6.4%	

※2 つまで選択（n=1,440、複数回答）（無回答 44）



※複数選択（2つまで選択）

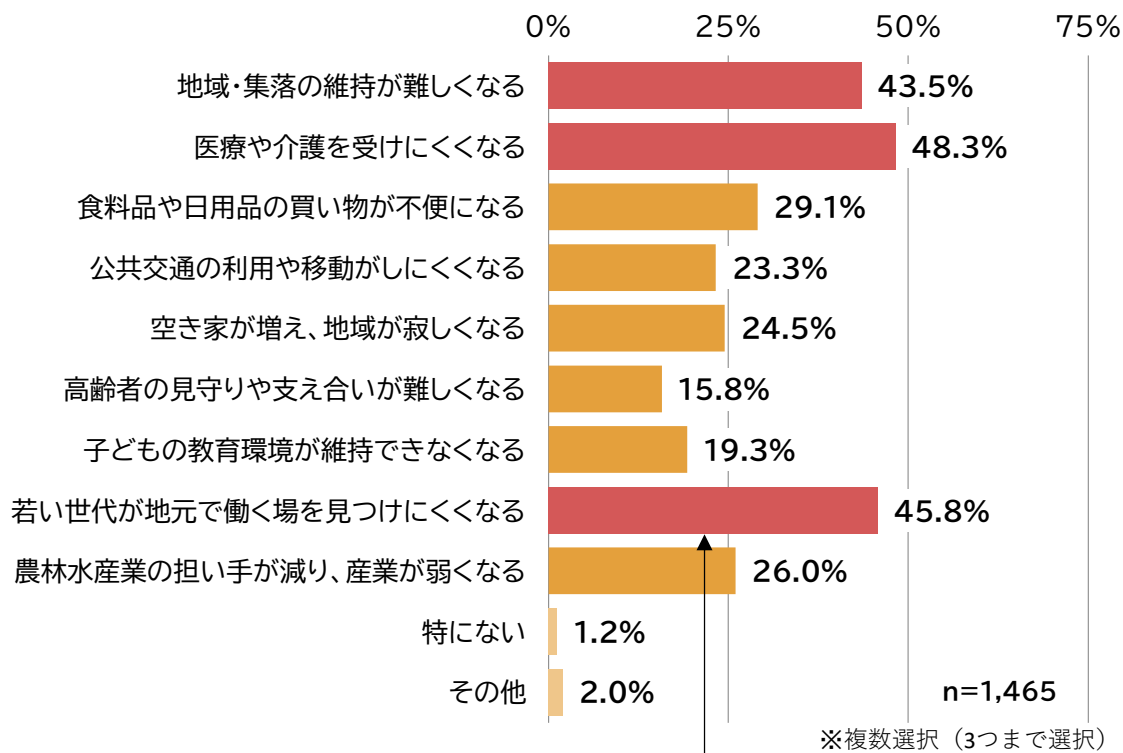
## 10. 人口減少・高齢化への不安（問 18）

【問 18】これから人口減少・高齢化がさらに進んだ場合、あなたが最も不安に感じることはどれですか。  
 <複数回答>

- 医療・介護（48.3%）、若者の雇用（45.8%）、集落維持（43.5%）が三大不安として浮き彫りとなりました。「特にない」はわずか 1.2%にとどまっており、ほぼ全ての住民が何らかの不安を抱えていることが分かります。

選択肢	回答数	割合
医療や介護を受けにくくなる	707	48.3%
若い世代が地元で働く場を見つけにくくなる	671	45.8%
地域・集落の維持が難しくなる	638	43.5%
食料品や日用品の買い物が不便になる	426	29.1%
農林水産業の担い手が減り、産業が弱くなる	381	26.0%
空き家が増え、地域が寂しくなる	359	24.5%
公共交通の利用や移動がしにくくなる	341	23.3%
子どもの教育環境が維持できなくなる	283	19.3%
高齢者の見守りや支え合いが難しくなる	231	15.8%
特にない	18	1.2%

※3 つまで選択（n=1,465、複数回答）（無回答 19）



- 回答者の 58.6%が 60 歳以上であるなかで若者の雇用（45.8%）が 2 位に挙がっている点は注目されます。
- 背景として、若者の減少が集落・地域の維持を困難にするという認識、医療・介護・買い物等の生活サービスへの影響に対する不安、農林水産業の後継者不足の実感、子や孫世代が地元で暮らし続けられる環境を望む思いなどが考えられ、世代を超えた地域の持続可能性への危機感の表れとしてとらえることができます。

- 
- 問18のその他の意見（自由記述）では、個別の生活上の不便にとどまらず、自治体の財政や地域の存続、自治体機能そのものの維持に対する根本的な不安も寄せられています。
- 

#### 自由記述にみる主な意見（人口減少・高齢化への不安）

・町の財政が悪化するのでは
・経営破綻
・愛南町の財政が厳しくなり町として存続できなくなる
・すでに県内でも愛南町は見捨てられている感じがするが、今後はさらに孤立しそう
・活気を取り戻したり、移住者を増やしたりなど、立ち直ることが困難になる。
・楽しさも何も無い町に留まる理由はないので愛南町放棄すべき
・仕事がなくなり家族を養えなくなる

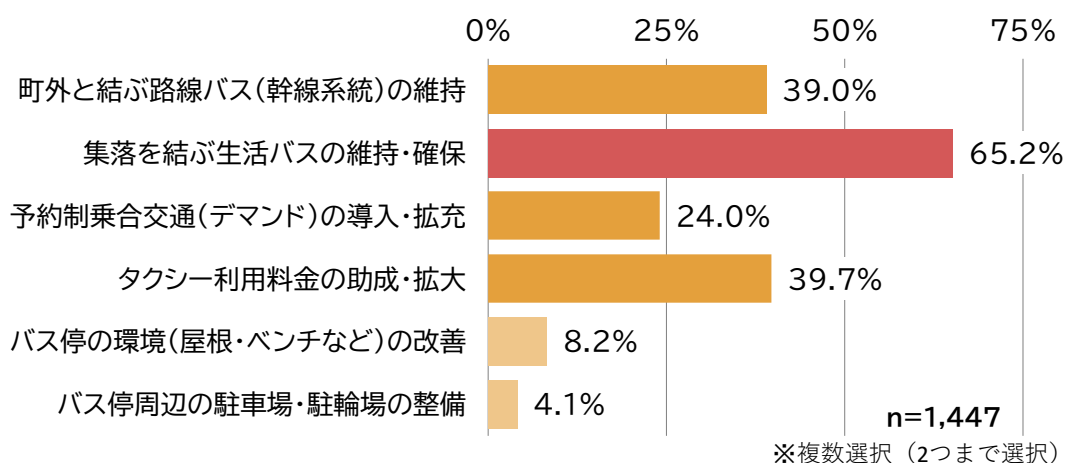
## 11. 地域の移動（問 19）

【問 19】地域の移動について、今後力を入れるべきと思うのはどれですか。＜複数回答＞

- 生活バスの維持・確保が 65.2%で圧倒的な支持を得ており、日常の移動手段として不可欠な存在となっています。
- タクシー助成（39.7%）と路線バス維持（39.0%）への要望も高く、バス路線を補完する移動支援の充実が求められています。デマンド交通（24.0%）も約 4 分の 1 が支持しており、効率的な運行形態として導入検討の余地があります。
- 生活バスを基軸としつつ、タクシー助成やデマンド交通を組み合わせた多層的な交通体系の構築が求められています。

選択肢	回答数	割合
集落を結ぶ生活バスの維持・確保	943	65.2%
タクシー利用料金の助成・拡大	575	39.7%
町外と結ぶ路線バス（幹線系統）の維持	564	39.0%
予約制乗合交通（デマンド）の導入・拡充	348	24.0%
バス停の環境（屋根・ベンチなど）の改善	119	8.2%
バス停周辺の駐車場・駐輪場の整備	60	4.1%

※2 つまで選択（n=1,447、複数回答）（無回答 37）



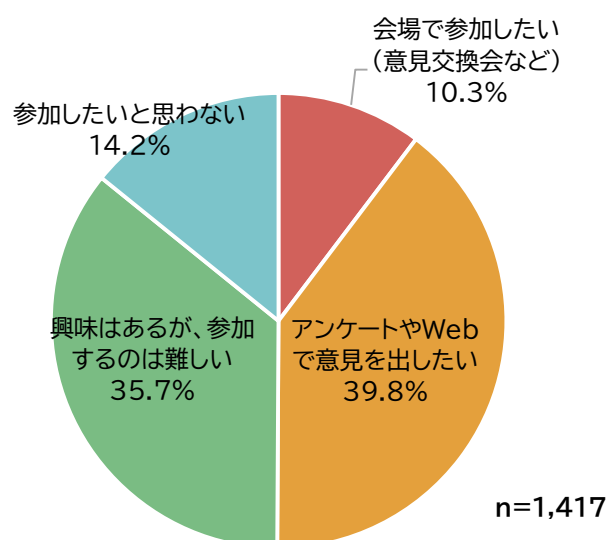
## 12. 住民参加の意向（問 20）

【問 20】 今後、まちづくりのご意見を伺う場を開催します。どのように参加したいですか。＜単一回答＞

- ▶ 「アンケートや Web で意見を出したい」が 39.8%と最も多くなっています。「会場で参加したい」は 10.3%にとどまる一方、「興味はあるが参加は難しい」が 35.7%を占めており、参加のハードルを下げる工夫が求められます。
- ▶ オンライン参加や出前型意見交換会の導入、アンケートの継続的な実施など、多様な参加機会の確保が今後の課題といえます。

選択肢	回答数	割合
アンケートや Web で意見を出したい	564	39.8%
興味はあるが、参加するのは難しい	506	35.7%
参加したいと思わない	201	14.2%
会場で参加したい（意見交換会など）	146	10.3%

※n=1,417（無回答 67）



### 13. 自由記述回答の概要（問 21）

【問 21】 お住まいの地域に関するご意見があれば、以下枠内に記入してください。＜自由記述＞

改善したい場所・施設	
新たに必要な機能・サービス	
将来も残したいもの	
その他	

問 21 では、「改善したい場所・施設」「新たに必要な機能・サービス」「将来も残したいもの」「その他」の 4 項目について自由記述を求め、6 割を超える計 950 人から回答が寄せられました。

選択肢	回答数	割合
改善したい場所・施設	296	19.9%
新たに必要な機能・サービス	252	17.0%
将来も残したいもの	224	15.1%
その他	140	9.4%
（いずれかを回答）	950	64.0%

※n=1,484

以下に各項目の自由記述の回答の概要（記載内容の傾向など）を整理します。

### 13.1 改善したい場所・施設

改善したい場所・施設については、「道路・歩道」に関する内容が最も多く、具体的な内容としては、町道・農道の補修、歩道の新設・道路拡幅、県道の二車線化、街灯の設置、沿道の草木の伐採などが挙げられています。

次いで、図書館・学習施設等、公共施設に関する要望が多く、町立図書館の新設の他、御荘文化センターや一本松山村開発センター（一本松公民館）の図書室（図書スペース）の充実、中高生の学習スペースの確保を求める声が寄せられています。

この他、医療提供体制について、県立南宇和病院の診療科の充実（産科・外科・麻酔科等）や救急医療体制の改善を求める声が多く、地域医療の核としての維持・充実が期待されています。

さらには、避難場所・避難路の整備（照明・トイレ・複数ルート化）、空き家・廃校施設の活用（コミュニティ施設・企業誘致・グランピング等）、公園・子どもの遊び場の整備（遊具の老朽化対策）、道の駅のリニューアル・観光拠点化なども多く寄せられています。

（自由記述全回答については、各地域別に整理した結果を39頁に一覧で整理します。）

（回答分類）

回答分類（主な内容のみ）	回答数	割合
道路・歩道に関する内容	51	17.2%
公共施設に関する内容	33	11.1%
医療提供体制に関する内容	29	9.8%
避難所・避難路等の防災に関する内容	22	7.4%
空き家・空き地・廃止施設等に関する内容	39	13.2%
公園・子どもの遊び場等に関する内容	26	8.8%
道の駅、観光施設等に関する内容	22	7.4%
あいなんバス等、公共交通に関する内容	15	5.1%

※n=296（回答数は、当該内容の記載がある意見を集計。回答者1名による複数意見の記載の場合も該当するものを重複してカウント。）

また、具体的な提案として以下のような意見も寄せられました。

テーマ	具体的な意見（原文）
防潮堤の是非に関する意見	<p>津波対策の防波堤。いらない。せっかくの海の見えるいいところが、防波堤に囲まれてしまいもったいない。窮屈に感じるし、一生高い壁に囲まれるのかと思うとかなしい。それよりも、避難所を高台や山の上に作るなど避難する場所をしっかりと準備する方にあてた方がいいのと思う。</p> <p>地震後の大津波が発生した場合、今工事中の防潮堤では役に立たない。2～3mの津波は御荘湾に入ると倍の高さになると思われ、流込した海水は防潮堤に阻まれ排水出来ず被害を大きくするのではないかと</p>
一本松地域への公共施設の機能移転に関する提案	<p>今後、発生する南海トラフ巨大地震がずっと心配されている。一本松地域は津波被害をほぼ考えることはない。町の中心となる公共施設の津波被害を小さくすることは現実に発災した際は重要だと考える。その意味では、これからでも、一本松地域へメイン施設の移動・集約あるいは、メインでなくとも代替・支援的な施設・機能（常勤職員の増員）を備えるような対策を少しずつでも毎年していくことは、長い期間となっても確実な防災・減災対策につながると考える。気温対策や産業等との繋がりなど、現実的な問題はあるかとは思いますが、将来の愛南町を考えるなら、それらは、想定外の少ない確実な減災対策となる。</p>
内海中学校のコミュニティ施設としての活用提案	<p>内海中学校を地域コミュニティの場や自然体験活動ができる施設として利用できないでしょうか。体育館や運動場があること、隣にゆらり内海があることから、集団宿泊体験施設や大学等の部活動合宿、企業等の研修施設として体験できるのではないのでしょうか。また、町民の生涯学習の場、地域コミュニティの場、伝統文化継承の場など活用できると思います。上記内容の施設利用方法であれば、多額の公費を投資しなくても、地域住民愛南町民にとって有効利用が可能になるのではないかと思います。</p>
展望タワーの観光拠点化の提案	<p>展望タワーが現在耐震の関係で稼働停止と伺っていますが、紫電改の建物も新しくなるということで、展望タワーも神奈川県江ノ島にあるようなキャンドルタワーに建て替えて欲しいです。そして1階にカフェや雑貨屋を作って欲しいです。そうすることで観光客も愛南町に来やすくなると思います。</p>

### 13.2 新たに必要な機能・サービス

新たに必要な機能・サービスについては、公共交通サービスや図書館の新設を求める声が多く寄せられています。図書館については、単独施設にとどまらず、カフェ併設型や多世代交流拠点型、ワーキングスペース併設型など、複合交流拠点施設としての整備を期待する意見も多く見られます。

従来の都市計画の枠を超えた福祉・教育面の要望も多く見られ、住民の生活課題が多様化・複合化していることがうかがえます。

(自由記述全回答については、各地域別に整理した結果を48頁に一覧で整理します。)

(回答分類)

回答分類 (主な内容のみ)	回答数	割合	備考
図書館・複合交流拠点施設	43	17.1%	単独図書館のほか、カフェ・学習スペース・多世代交流機能を備えた複合施設の提案を含む
公共交通サービス	40	15.9%	あいなんバスの増便・路線拡大、デマンド交通、免許返納後の移動手段など
商業施設・買物支援	28	11.1%	店舗誘致、移動販売、買物宅配、見守りとの連携など
医療・介護サービス	22	8.7%	県立病院の体制強化、産婦人科設置、移動診療など
子ども・若者の居場所・遊び場	19	7.5%	公園・遊具の整備、若者が集まれる場所など

※n=252 (回答数は、当該内容の記載がある意見を集計。回答者1名による複数意見の記載の場合も該当するものを重複してカウント。)

### 13.3 将来も残したいもの

将来も残したいものについては、自然環境や景観に関する内容が多く挙げられており、愛南町の地域アイデンティティとして広く認識していることがうかがえます。

この他に、祭り・伝統文化・歴史遺産や地場産業(農林水産業)に関する意見や南宇和高校や小学校などの存続を求める意見も多く見られました。

(自由記述全回答については、各地域別に整理した結果を56頁に一覧で整理します。)

(回答分類)

回答分類 (主な内容のみ)	回答数	割合
自然環境・景観	62	27.7%
祭り・伝統文化・歴史遺産	38	17.0%
地場産業(農林水産業)	22	9.8%
学校	17	7.6%
医療・公共交通等の生活基盤	13	5.8%

※n=224 (回答数は、当該内容の記載がある意見を集計。回答者1名による複数意見の記載の場合も該当するものを重複してカウント。)

#### 13.4 その他の意見

このほか、自由記述(その他)として140件の意見を頂きました。

今後のまちづくりに関するご意見・ご提案が58件、要望に関する内容が68件、その他のご意見が14件でした。

(自由記述全回答については、各地域別に整理した結果を62頁に一覧で整理します。)

資料編：自由記述回答の整理

各項目の自由記述の原文を各項目別・地域別に整理したものを以降に示します。

(1) 自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）[全回答]

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【内海地域】(n=21)	
40～49 歳	スマホの電波悪い。道路の整備
50～59 歳	内海公民館にはフローリングのスペースがない。調理場がない。 内海中学校を地域コミュニティの場や自然体験活動ができる施設として利用できないでしょうか。体育館や運動場があること、隣にゆらり内海があることから、集団宿泊体験施設や大学等の部活動合宿、企業等の研修施設として体験できるのではないのでしょうか。また、町民の生涯学習の場、地域コミュニティの場、伝統文化継承の場など活用できると思います。上記内容の施設利用方法であれば、多額の公費を投資しなくても、地域住民愛南町民にとって有効利用が可能になるのではないかと思います。
75～79 歳	一時凌ぎ的現在の図書室の改善
40～49 歳	公園の管理が高齢化で人数が少なくなり困難なので行政に管理してもらいたいです
40～49 歳	DE・あ・い・21の有効利用。子供達が安全に遊べる場所の確保。
40～49 歳	公園のトイレが汚いし、扉も壊れている
50～59 歳	公園に遊具がひとつもない
60～64 歳	須ノ川公園
40～49 歳	津波一時避難場所の環境が悪い、狭い
50～59 歳	避難場所の整備
60～64 歳	内海地域の二次避難場所（一本松）を内海地域内に設置していただきたい
60～64 歳	災害時の避難場所
70～74 歳	津波の時の避難路、場所
30～39 歳	子供達の交通が不便。習い事やスクールバスの便が少ないので送迎が大変。送迎の為に仕事をセーブしないとイケない。子供がやりたい事も送迎できなければさしてあげれない。
50～59 歳	今は、自分で 運転して、買い物など行けますが、将来的に、免許を返した場合、大変な不便になりそうで、不安です。
50～59 歳	国道沿いの木の伐採をして「海の景色」が見えるようにして欲しい。
50～59 歳	公共交通サービスの充実
75～79 歳	魚神山からの意見と通りにくい。例えば御荘迄愛南バスの柏までは意味がない
20 歳未満	空き家や余っているスペースに何か施設を建てる。
60～64 歳	道路脇の空き家の崩壊等
75～79 歳	集会所(常時 9～17)開放。話し合いの場としたい。但し、特に光熱費・管理上問題になるが。光熱費の検討(最重要)

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【御荘地域】 [1/3] (n=86)	
40～49 歳	国道や県道の美化（夏場は草ボーボー）
40～49 歳	（道路環境整備）草木が生い茂り交通の妨げになっているので、行政が積極的に対応して頂きたい。
50～59 歳	町道の補修 一部の地区が優先され、道路の整備に、地域差がありすぎ。
50～59 歳	地区に入る道路の入口、トラックやバス等が入ってくるがよける場所がない(狭い)
60～64 歳	町道や農道などをもっと整備して欲しい。
60～64 歳	町道の整備
60～64 歳	農業道路の歩道
75～79 歳	御荘長月(第一)毎年、大雨・台風で自宅前の川(みぞご)が氾濫して道に流れ出して通行できなくなる
65～69 歳	町道
65～69 歳	家までの道路が農道の為、狭い。道が暗いです
70～74 歳	自然道になっている狭道。道路は直して階段の一段が高くなって年寄りには高く危ない。道を通してあとで言ってもダメ
70～74 歳	馬瀬地区から DCM に最短で行ける橋は車 1 台通るのがぎりぎりいっぱい危険です。自動車・自転車・歩行者通行量多いので広げるとか改善して欲しいです。中浦の方からも利用するので
80 歳以上	本町から八幡神社までの歩道の整備(転倒してケガをした人もいます)
50～59 歳	文化センター。設備が古くなってる。 町の施設ではないが、南レク公園。整えて大きな大会やイベントができるように。
40～49 歳	図書館、道の駅 みしょう MIC
65～69 歳	図書館が欲しい
65～69 歳	文化センターの図書室を改善してほしい。蔵書数が少ないし、ゆっくり本を読むスペースもない。高校生は、ホール入り口の通路のようなところで学習をしている。図書館のない町では、子どもの教育の向上は望めないのではないかと。
65～69 歳	御荘文化センターの図書室を拡大し、蔵書を増やし、読書もできるようにしてほしい。
65～69 歳	今ある図書コーナーをもっと広げて充実してほしい
70～74 歳	平成交流センターで文化活動していますが、駐車場の狭く車が停められない為、文化センターに駐車し歩いて移動する時があります。交流センター付近の方が何台も駐車場として利用されていますが文化活動のある日等はその方達に車の移動をおねがいすることはできないのでしょうか。それとももう少し駐車場が広がる可能性はないのでしょうか？
75～79 歳	公民館等のトイレをウォシュレットに変えてほしい
20 歳未満	天狗公園をもっと大きくしてほしい。土のグラウンドはいいけどもっと大きくしてほしい。ちょっと芝もほしくて松軒山に登るのはしんどい。
30～39 歳	夢創造館 もっと遊具を充実させて欲しい。また、もっと魅力的なイベントを開催して欲しい。
30～39 歳	空き家、空き地があるが、子どもと遊べるスペース広場や駐車場がないので、増やしてほしい。
30～39 歳	南レクの御荘公園
30～39 歳	サンパールに遊具をまた作って欲しい
60～64 歳	公園の整備。草が生い茂って遊べないことが多い
70～74 歳	児童公園。子供と親が遊べる屋外の公園
40～49 歳	河川敷の整備(公園や散歩コースの街灯等)若者が住める集合住宅
20 歳未満	道の駅
20～29 歳	道の駅をリニューアルして欲しい
40～49 歳	道の駅 みしょう MIC の駐車場の狭い。建物も古く、購買意欲が湧きにくい気がする。
40～49 歳	展望タワーが現在耐震の関係で稼働停止と伺っていますが、紫電改の建物も新しくなるということで、展望タワーも神奈川県の江ノ島にあるようなキャンドルタワーに建て替えて欲しいです。そして1階にカフェや雑貨屋を作って欲しいです。そうすることで観光客も愛南町に来やすくなると思います。
40～49 歳	特産品の直売や飲食店、観光情報の発信、ワーキングスペースなどが入り、防災機能も兼ねた、拠点となる道の駅。須ノ川公園周辺施設をマリレジャー体験だけでなく、海の学習拠点とし、宿泊施設やワーキングスペースなどを併設する他、キャンプ地としても素晴らしいので、食材が買える場所や調理場などを整備する。

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【御荘地域】[2/3] (n=86)	
50～59 歳	各、道の駅の充実
50～59 歳	道の駅 みしょう MIC が近隣の地域と比べて規模も設備も劣っているので改善が必要
65～69 歳	道の駅 みしょう MIC
65～69 歳	道の駅をもっと明るく、見やすいようにあか抜けしたら観光客も来ると思う
75～79 歳	観自在寺を中心とする参道の活性化
30～39 歳	津波対策の防波堤。いらない。 せっかくの海の見えるいいところが、防波堤に囲まれてしまいもったいない。窮屈に感じるし、一生高い壁に囲まれるのかと思うとかなしい。それよりも、避難所を高台や山の上にするなど避難する場所をしっかりと準備する方にあてたらいいのと思う。
30～39 歳	避難通路になっている細い道の整備(舗装・手すりなどの取付)
50～59 歳	避難場所への避難時を数通り整備した方がいい。地震と同時に避難路でなくなる可能性があるので、う回路を整備
60～64 歳	津波対策の充実
65～69 歳	防潮堤より、避難路を増やし整備する
70～74 歳	津波の対応として高台以外への避難場所の設置。特に足が不自由な住民への対応のため
70～74 歳	湾岸
75～79 歳	災害時の避難場所の見直し(地域住民と役場担当者の立会)
75～79 歳	地震後の大津波が発生した場合、今工事中の防潮堤では役に立たない。2～3m の津波は御荘湾に入ると倍の高さになると思われ、流込した海水は防潮堤に阻まれ排水出来ず被害を大きくするのではないか
75～79 歳	一時避難場所に明かりがなく、雨や寒さが心配
30～39 歳	病院。休日に子供が熱を出し、嘔吐して水分が取れないとき(夜) 県立南宇和病院に電話したら、点滴も小児科の先生がいないのでできないと言われ、近くの大きな病院(宇和島や宿毛)に行けと言われた。旦那も家にいない仕事のため、1歳の小さな子供も連れていけない為本当にどうにかしてほしいです。早急に
40～49 歳	県立南宇和病院
40～49 歳	県立南宇和病院 治療体制の拡充
40～49 歳	県立南宇和病院、空き家など
50～59 歳	県立南宇和病院
50～59 歳	賃貸物件の拡充(公園や病院の近くを作る) 医療診療時間の延長(17時以降に行きたいのに休まないといけない)
60～64 歳	中浦診療所
60～64 歳	県立南宇和病院
65～69 歳	外科・眼科・耳鼻科が不足しているので不安です
20 歳未満	店舗が移転した後の建物に飲食店などをいれてほしい
20 歳未満	使わなくなった学校
40～49 歳	小学校や保育所などの再利用などして、新しい建物は作らない
50～59 歳	自宅に隣接する空き地の雑草(石垣)等が手入れされておらず、災害時崩落の危険性があり不安である
60～64 歳	作られたまま放置されている公共施設の再利用
75～79 歳	空き家の調査。各道路の整備
20 歳未満	もっと施設を増やす
20 歳未満	人が集まれるようなこと
20 歳未満	ショップ
20 歳未満	南宇和高校
30～39 歳	若者が集うような場所・施設
30～39 歳	若い世代が働いて暮らしたいと思える場所を増やす事
75～79 歳	近くにスーパーが欲しい
70～74 歳	地区集会所が僧都川近くなので移築出来れば良い。
40～49 歳	河川
40～49 歳	釣り場 釣り交流場

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【御荘地域】[3/3] (n=86)	
50～59 歳	栄町地域のゴミの収集場所に違うゴミが毎月捨てられて、可燃ゴミが入らない。缶ゴミは夜出したら誰かが持って行くから怖いです。なんとかして欲しいです。
50～59 歳	山の木を切って欲しい。街灯をつけて欲しい。県道のため無理？
60～64 歳	県立南宇和病院の対応が、上から目線で、お年寄りの家庭環境や町の福祉の限界を考慮して対応してほしい。
60～64 歳	障害のある子供達の居場所がない。作業所はあるがいっぱい入れない重度の子は行き場がないので町外に行っている
60～64 歳	行政の施設は役場のみ(インフラ用は別)
65～69 歳	夢創造館の敷地内に建てられた景観をととも乱すような建物はどこかに移転してほしいと思う
65～69 歳	障害者が働ける場所
65～69 歳	合併浄化槽の装置の推進
70～74 歳	湾岸
70～74 歳	城辺バス停から県立病院まで歩くとしんどい
75～79 歳	近年、猿は見かけることがなくなりました。悪さをしていたので良いと思っています。今目にするのが、山の竹の公害が有るので心配です
75～79 歳	身体・懐、共に豊かになりたい
75～79 歳	海など(川)に生活用のゴミと思われるものが多数見かけるので捨てない様に伝達してほしい

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【城辺地域】[1/3] (n=104)	
20歳未満	道路を整えてほしいです。
20歳未満	道幅を広くしてほしい
30～39歳	街灯のない主要道への街灯の設置
30～39歳	安全に歩ける歩道がほしい(役場～国道にかけて)
50～59歳	歩道の整備、特に通学路になる部分
50～59歳	農道の整備
50～59歳	旧城辺給食センター横の道路に歩道がほしい。散歩やランニングする人が多いのに、歩道が途切れていて、先日は死亡事故があった。かねてから、不安な場所だった。ぜひ、歩道を繋げてほしい。とても危ない。
50～59歳	所々歩道がない場所の改善
60～64歳	道路・交通インフラ。歩行者と車両の分離
60～64歳	愛南町城辺乙のコインランドリー近くの交差点の設置をしてほしいです
65～69歳	生活の基礎となる道路修繕、補修
65～69歳	中浦・西浦・大浜・柿浦などの道。木々の伐採
65～69歳	道路の歩道の拡大
70～74歳	道路(路肩)の整備
70～74歳	町道の整備。地区内の掃除など高齢化できなくなっている
70～74歳	道路に少しずつ穴あきが見られる
75～79歳	役場の前の半分枯れたような木を植えるくらいなら、桜でも植えた方がいいと思う。あと前の道に横断歩道がいると思う。
75～79歳	町道の舗装・センターライン・路側帯の補修
75～79歳	道路が狭い(長野地区)
75～79歳	車のアクセスが大変。離合が出来る様にしてほしいです(深浦)
60～64歳	僧都川沿いの遊歩道や護岸の除草や整備を継続的に実施してもらいたい
30～39歳	城辺の市街地周辺に大きな公園がほしい
50～59歳	公園の整備
65～69歳	子供の遊ぶ場所。安全な遊具があり、皆が遊べる場所があればいいと思います
70～74歳	公園の遊具が古くなり、使用できないものが多いため、新たな遊具の設置を希望
20歳未満	御荘文化センターの勉強スペースを増やす
40～49歳	B&Gの筋トレの機具を新しくして町民が運動を沢山できるようにしてほしい
50～59歳	地域人が交流できたり、カルチャー教室などができる図書館が欲しい
50～59歳	図書館のない町はおかしい。子供たちのことを思えば必要。
50～59歳	私自身は車で移動出来るので、地域に多くを求めていない、今は。ただ、愛南町全体としては、若者が利用しやすい憩いの場がほとんどないと感じる
60～64歳	図書館の充実
60～64歳	町立図書館
65～69歳	高知の梶原のような素晴らしい三ツ星の図書館があれば毎日でも出かけた
70～74歳	図書室の充実をお願いします(書生が圧倒的に少ない)
50～59歳	願いは、図書館の創設ですが、かないそうにないため、せめて役場や公民館等に、中高生や一般を対象にした学習スペースを設けていただきたい。 道の駅をリニューアルして、観光客のニーズに応えられるようにしたい。観光の拠点としたい。愛南町の観光拠点施設がはっきりしないため、創設する等分かりやすくしてほしい。 内海の国道沿いは、海岸部の美しい景観が見られる。町内への入口であるので、展望所や観光案内施設、カフェや特産品販売コーナー等を整備してはどうか。
20歳未満	お遍路道路
40～49歳	須の川キャンプ場
40～49歳	みかんの農地の環境整備(周辺道路の補強と改善、農業用水、公共トイレ設置) 深浦漁港をもっと観光地としてアピール 海鮮が気軽に食べられるお店の充実

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【城辺地域】[2/3] (n=104)	
40～49 歳	山出温泉
70～74 歳	山出憩の里温泉⇒もっと手を入れて綺麗にして頂きたい
20 歳未満	空き家、利用者の少ない公園
20 歳未満	ダイキの跡地
40～49 歳	空き家が多い
40～49 歳	廃止後放置され老朽化した店舗・事業所・施設
50～59 歳	空き家を愛南町が買い取ること。
50～59 歳	保育園や小学校の跡地の有効活用
50～59 歳	久良小学校跡にグランピング施設を。地元食材でオーガニック料理を
60～64 歳	空き家が増え、崩落の危険がある。改善して欲しい
65～69 歳	現在使用されていない施設(旧学校等)の利用(企業誘致等)
65～69 歳	空き家対策。住宅を探している人たちが何人もいると思う。各地区の集会所。耐久性や安全性など確認してほしい。
70～74 歳	廃校になった学校の活用
75～79 歳	空き地の雑草を何とかしてほしい
75～79 歳	町所有の空き地の管理を徹底していただきたい。近くの住民に迷惑がかからぬように(特に雑草の草刈り)
50～59 歳	耕作放棄地の利活用、有機農業の推進
65～69 歳	耕作放棄地の大木や竹の撤去、猿の駆除を行政主導でできないか
40～49 歳	各商店街のリノベーション(横丁にするなど)
40～49 歳	商店街の空き家対策
40～49 歳	城辺商店街再開(一方通行化) 病院等中心になる物を誘致する
40～49 歳	御荘・城辺の商店街、町の中心となる役場の近くが寂れていて観光客が来る様な町になっていない。若い人が住み続けたいと思える場所ではない
65～69 歳	シャッター通りなくしたい
30～39 歳	あいなんバスを城辺から柏を作ってほしい、給付金をもらえるようにしてほしい
60～64 歳	移動しやすい交通機関
70～74 歳	あいなんバス良いとは思いますが、バス停が少ない。もう少しスーパー(フジ・A マックス・ダイレックス)の中にも時間を決めてでも入ってもらえれば嬉しいです
75～79 歳	生活バスを通してほしい。タクシー利用料金を上げる
50～59 歳	避難場所の充実と周知に努めてほしい。特にトイレ検討して欲しい
60～64 歳	津波等災害に対する整備が全くできていない。避難路・避難所
75～79 歳	防災に関しても一般の行事にしても行政の方と一般町民の意識の乖離がある様に感じます。地震や津波の避難場所にしても地図上で周知しても実際に行って使えるか、どうかその地区の人が避難路を使って確認する必要があると思います
40～49 歳	僧都川河川敷の美化、街灯設置
50～59 歳	整備された自然
60～64 歳	公営住宅で各自のマナーが悪すぎ。役場からの注意として貼って欲しい。河川敷など国道沿いなど草がボーボーでシルバーなど利用したらどうでしょうか？
65～69 歳	蓮乗寺川のゴミの撤去。非常に汚い
60～64 歳	高茂岬
40～49 歳	景観がいい地域なのに、海沿いの、使われていない元倉庫や漁具、船などが放置され、とてももったいないので改善したい
40～49 歳	漁具や船などが放置されている場所があるのでなんとか撤去・清掃したい
20～29 歳	県立南宇和病院(赤ちゃん)が産む場所がない宇和島の病院に行くまで遠すぎる医療体制を整えて欲しいですこども食堂を作る(城辺商店街の空き家を活用する)
50～59 歳	産科医院
50～59 歳	県立南宇和病院の救急医療の改善：麻酔科がなく手術ができず心臓、脳等で倒れた場合助かる可能性が低い、まちづくり以前の問題で住民に安心して生活できる医療体制が急務だと思います。救急医療が整備されない町には住めないと思います。

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【城辺地域】[3/3] (n=104)	
60～64 歳	医療の充実
65～69 歳	県立南宇和病院
65～69 歳	県立南宇和病院
65～69 歳	医療、温泉等の施設
70～74 歳	県立南宇和病院の医者が少ないため、他の病院に紹介されることが多く、自分で運転ができず、困っている患者さんが多い
70～74 歳	県立南宇和病院の診療科の充実
20～29 歳	役場、県立南宇和病院の周辺（徒歩圏内）に買い物できる施設がなく困っている。
40～49 歳	役場の近くにコンビニがあったらいいと思う。
60～64 歳	裏山
65～69 歳	海の整備
70～74 歳	野生動物による農業への被害やこれから起こるかもしれない事故
20～29 歳	南宇和高校
40～49 歳	南宇和高校寮建設
30～39 歳	廃校、廃園や拠点校を絞り、しっかりとした教育の場や施設を確保すること
40～49 歳	20人以外の小学校
30～39 歳	団地をもう少し新しくした方が若者も住みたいと思えるのではないか
50～59 歳	施設全般、老朽化が激しい 賃貸アパートはどこも清掃や管理が不十分で蜘蛛の巣だらけ、コケだらけ 他地域はもっと管理されています
70～74 歳	老人ホームの施設の充実
60～64 歳	寺や神社は改修工事の度に寄付金を要求するが、年金生活者だけでなく若い世代でも大きい負担となる。寺や神社を一つに集約できないか
70～74 歳	神社・仏閣の整備
30～39 歳	役場
50～59 歳	役場の土・日利用。独身者は平日役場を利用するのが難しい。仕事を休んでまでは行けない
50～59 歳	城辺甲(県立南宇和病院周辺)
40～49 歳	城辺商店街の四国電力と高知銀行の壁を削ってほしい。(見通しが悪く、歩く際に危険。バス停があるにも関わらず、バスが来る時に気付けない。)
50～59 歳	裏路地の中央にある側溝のコンクリート蓋のガタつきと車通行時の騒音
60～64 歳	特にない(行政に地域の整備は大体やって頂いた)
65～69 歳	行政に聞き入れてもらえない
75～79 歳	ゴミ収集場利用の徹底(地区外持込、搬入時間他)犬猫問題等モラル向上の構築を深く
80 歳以上	お墓が山の上なので、平地に墓地団地があれば良いのに

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【西海地域】（n=33）	
40～49 歳	生活道が全て津波の浸水域にある
50～59 歳	下久家から樽見までの道路、細い道
65～69 歳	道路を覆う木の伐採
65～69 歳	散歩に行くのですが、道路を歩いていると、車が横がすれすれで通り怖い時があります。歩道がほしいです。
70～74 歳	県道沿いの整備。先日(2階立て)背の高いバスが通っていました。山の上から垂れた木が当たります。もう二度と来ないだろうと思ってしまいました。
75～79 歳	道路環境の改善・拡幅
75～79 歳	県道の完全二車線化
75～79 歳	救急車が通れるように道路を広げる(1ヶ所)
80 歳以上	県道を早急に二車線へ拡張願いたい
20 歳未満	遊べる場所や飲食店、買い物ができる場所を増やすべき。
20 歳未満	遊べる場所が欲しい
75～79 歳	公民館など公共施設をもっと気軽に利用出来るようになれば良い。
75～79 歳	公民館での生き甲斐作り講座の充実
50～59 歳	道の駅みしょう MIC をもう少し広く、異例に直して欲しい。駐車場も狭い。場所を変えたらどうか
60～64 歳	石垣の里の観光施設・駐車場(だんだん館の再利用等)地区の漁港に自由に入出し利用している釣り人を規制できる漁港(自由駐車禁止)
30～39 歳	空き家の利活用の推進
50～59 歳	空き家が多い
60～64 歳	廃校になった学校施設の有効活用
65～69 歳	空き家の整備
65～69 歳	学校(廃校)を利用出来るようにして欲しい
20 歳未満	バス停にベンチが欲しい。
20～29 歳	あいなんバス 便を増やす
40～49 歳	あいなんバス 増便または、時間の変更
50～59 歳	あいなんバスのバス停に待ち用のベンチがあれば良いと思う。高齢者が地べたに座り込んでバス待ちをしてる姿をよく見かける為。
60～64 歳	避難場所、だんだん館など。
70～74 歳	避難場所
75～79 歳	防災時の避難道
40～49 歳	医療機関
75～79 歳	病院・移動診療車、鹿島のトイレ
80 歳以上	集会所は津波が来るとすぐに駄目になるので、替りの場所がほしいです
70～74 歳	若者を地元に残したい
70～74 歳	人口の減少
70～74 歳	害獣による石垣の崩落を防ぐ為の駆除対策。猟師の確保・育成

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【一本松地域】[1/2] (n=49)	
40～49 歳	僧都川の河川沿いを二車線道路へ拡幅してほしい。八幡神社～県立南宇和病院：町民の生活道路になると思う。現在は遠回りな上に、非常に危険な箇所が多い。
40～49 歳	一本松山村開発センター周辺の道路が複雑なため、国道と役場支所・郵便局・学校・公民館をつなぐ動線を整理し、一本化できないかと感じています。 また、あけぼのグラウンド・あけぼの公園・一本松温泉あけぼの荘・フレッシュ一本松を個別に運営するのではなく、統括的に運営する体制が必要だと思えます。 高知方面からの観光の受け皿として、スポーツ・公園レジャー・産直市・教育機能を兼ね備えた、町内農家も参加しやすいランドマークになれば、非常に魅力的だと思います。
70～74 歳	道路の雑木伐採。生い茂っている。
75～79 歳	傷んだ道路（広域農道）を再舗装してほしい
75～79 歳	町道幅員と古い橋
75～79 歳	県道の拡幅
30～39 歳	子育て中です。あけぼの公園の遊具の老朽化が酷く改修していただきたいです。
60～64 歳	子どもの遊び場がない。
60～64 歳	子供達が安全に遊べる場所が少ない。あっても雑草が伸び放題で遊べなかったりする。きちんと整備して欲しい
20 歳未満	一本松地域、建物というか、屋根がついている座り場所的な、行く人は行くような場所が欲しい(ひろみ)
50～59 歳	御荘文化センター、閉校した学校
60～64 歳	充実した図書館
70～74 歳	公民館の改修
40～49 歳	山村開発センターは、とてもいい施設だと思うのですが、図書室がなんか暗いイメージで、本がある事は知っているけど、足が向かない。もう少し広くて、ゆっくりしていけるような空間になると嬉しいです。
70～74 歳	一本松山村開発センターの改修
75～79 歳	一本松支所・公民館
75～79 歳	道の駅
30～39 歳	閉校施設
50～59 歳	旧満倉小学校
50～59 歳	内海のビーチやアルファ辺りのレストラン
60～64 歳	空き家対策
65～69 歳	旧の一本松支所の建物・土地の対応の明確化。一本松開発センターの老朽化対応
65～69 歳	古い民家が放置され、崩れそうで怖い。ネコや変な生き物が住み着いている
75～79 歳	使われなくなった公共施設の有効活用を望みます(保育所・学校等)
50～59 歳	空いた田畑や建物
65～69 歳	耕作していない箇所の鉄作を撤去していただきたい。放置している所は撤去する者(方)がない
75～79 歳	ほとんど利用(使用)していない施設は、できる限り集約化する。 (現在無理やり催しを開催している感あり)
50～59 歳	将来運転免許を返納した場合、公共交通が不便で町内では生活できなくなると思う
60～64 歳	宇和島自動のバスが通っているため、あいなんバスは通らない。バス代とかの面で不平等を感じる
50～59 歳	災害時の避難所
50～59 歳	今後、発生する南海トラフ巨大地震がずっと心配されている。一本松地域は津波被害をほぼ考えることはない。町の中心となる公共施設の津波被害を小さくすることは現実に発災した際は重要だと考える。その意味では、これからでも、一本松地域へメイン施設の移動・集約あるいは、メインでなくとも代替・支援的な施設・機能（常勤職員の増員）を備えるような対策を少しずつでも毎年していくことは、長い期間となっても確実な防災・減災対策につながると考える。気温対策や産業等との繋がりなど、現実的な問題はあるかとは思いますが、将来の愛南町を考えるなら、それらは、想定外の少ない確実な減災対策となる。
30～39 歳	病院機能の集約。
30～39 歳	病院
40～49 歳	県立南宇和病院では小さいので、宇和島市立のような病院を愛南町に増やして欲しい

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【一本松地域】 [2/2] (n=49)	
50～59 歳	県立南宇和病院、医者看護師の対応教育
60～64 歳	県立南宇和病院
65～69 歳	病院の建て替え
65～69 歳	病院施設等
50～59 歳	農地への水関係設備
70～74 歳	川底にたまった泥を掘ったり、川に生えている草とか除いてもっと水が流れるようにしてほしい
70～74 歳	地区の集会所の充実
75～79 歳	集会所に行くにもよる灯りがなく怖い
40～49 歳	街灯がなく防犯の面で不安が強い(中川地区)
40～49 歳	春日神社
50～59 歳	ゴミ収集の鉄の扉が重い。開き扉に変えて欲しい。重いから
60～64 歳	単発の町主催イベントよりも町民が生活する基となる仕事(会社等)を誘致することに税金を使っていたきたい
65～69 歳	お宮近く道路横の元作業所。個人所有と思われるがトレッキングで多くの方がその横を通るが景観が悪い。夜散歩している人がいる中で照明が欲しいのではないかと思う。ライト所持しているようだが
65～69 歳	愛南町の水道料金が高く感じます。又、毎月ではなく、2か月に一度の検針にして人件費を削るとか役場職員がするとかしてみるのも方法ではないでしょうか。愛南町の故郷納税は同様に使われているのでしょうか？愛媛県の市町村で3位の年度もあったときいております。町民のメリットは何でしょうか？又、地方活性に使うのであればこちらに移住された時のメリットに使うとか
75～79 歳	体が自由になると道づくり等の参加が難しくなるので、そういう時の人の補充が大事だと思います

自由記述（お住まいの「地域」で改善したい場所・施設）【地域不明】 (n=1)	
年齢不明	老人の集合する世話人がほしい。もう少し楽しみたい。一人住まいの人が多いため

## (2) 自由記述（お住まいの「地域」に新たに必要な機能・サービス）[全回答]

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【内海地域】 (n=14)	
60～64 歳	多世代が集まり活用でき、図書館の機能を備えた交流拠点
75～79 歳	図書館としての機能を持ち、地域文化の資料収集、保存し、閲覧を可能にして全国のどの図書館とも相互貸借ができる内容の施設
50～59 歳	未来の愛南町を担う人材育成、関係人口を増やす故郷愛南町を好きになり大切に思い、誇りに思う教育の推進が必要だと思います。（機能やサービスではありませんが、学校教育だけでなく行政と住民が連携した教育が可能となる機能が必要だと思います。）地域住民が主体的に、得意を生かしているいろいろなことに挑戦できる多目的利用に対応できるコミュニティ施設が必要だと思います。
50～59 歳	子供が安全に遊べる遊具を置いて欲しい
75～79 歳	公園(屋根がある市場、休憩が可能な建物含む)
20 歳未満	特に若い人が楽しめるような商業施設
50～59 歳	若者が遊びに行ける集まれる場所を作る。例えば、四国西南地区に無い映画館とか
40～49 歳	あいなんバスにほとんど乗っていないので、スクールバスの時間帯と(児童が乗る様に)合わせてみたら良いのではと思います
60～64 歳	タクシー等で相乗りできるアプリ
50～59 歳	避難場所に備蓄品、機材の保管
60～64 歳	避難施設の充実
60～64 歳	医療や介護の維持
75～79 歳	交流人口を増やす施設、政策
40～49 歳	盗難や不審者に備えて、防犯カメラを地域の中にも積極的に設置して欲しい。

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【御荘地域】 [1/2] (n=79)	
20歳未満	図書館
20～29歳	図書館
30～39歳	複合施設(図書館)
30～39歳	図書館
30～39歳	老若男女、だれでも集まってゆっくりできるようなスペースがあれば、繋がりも増えるし、災害などのいざというときに協力しやすいのではないかな？
40～49歳	図書館(新設)、公園
40～49歳	図書館、水族館、ビジターセンター、
40～49歳	町民が気軽に集まれるスペース
50～59歳	図書館・ワーキングスペース・レンタル会議室
50～59歳	図書館や美術館等の複合施設
50～59歳	各支所に図書館機能としての電子書籍の導入
50～59歳	高校生が安心して遊んだり、学べる場所
50～59歳	図書館
50～59歳	他世代が集える施設や区域
75～79歳	行き場のない、元気な高齢者が集える、毎日でも通える場所が必要。趣味・運動・遊び等続けられる場所、施設等が必要
70～74歳	雨天でも出来るドーム・中規模な飲食店
30～39歳	広場の一部に策を立てて子供たちが自由にボール遊びできる場を
40～49歳	子供のスポーツの場を町内で
60～64歳	子供達が遊べる公園や遊具が少ない(香川県にあるやどん公園は良かった)
20歳未満	遊ぶところ
20歳未満	娯楽
20歳未満	子供が遊べる場を作る
20歳未満	若者が遊べる場所
20歳未満	ショップ
20歳未満	有名なチェーン店を置く
20～29歳	マクドナルド等のチェーン店
30～39歳	空き店舗の活用 チェーン店など欲しい(家族が入りやすいお店が少ない為)
20歳未満	バスの便増加
20歳未満	手軽な交通手段、飲食店
30～39歳	高齢者の移動手段の充実。見守りの充実
30～39歳	宇和島自動車バス停の拡充
40～49歳	あいなんバスがもっと色々な場所で乗り降りできるようになると良いと思う
40～49歳	デマンドバス
40～49歳	乗り合いタクシーなど利用して、高齢者でもお金を使わせないようなサービス
50～59歳	高齢者の交通手段のタクシーは30分待ちがほとんどのため、愛南町でもタクシーの様な交通手段を考えて欲しい
50～59歳	車に乗らないと買物にも行けないという状況をどうにかしたい。被害者にも被疑者にもなりうるので
65～69歳	あいなんバスのルートを増やすか、デマンドの導入
65～69歳	デマンド
70～74歳	タクシー料金の拡大のこと(路線バスが無い為)
70～74歳	とにかく車の足が無い。返納が増えたのにタクシーが無い
75～79歳	あいなんバス停が必要に思う

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【御荘地域】 [2/2] (n=79)	
75～79 歳	運転出来なくなってからの交通手段が少なくなるので、特に通院の手助けが欲しくなると思います
75～79 歳	交通機関<愛南バス>の便を増やす
50～59 歳	買い物支援
50～59 歳	老人の一人暮らしが多くなってきているので一人暮らしでも安心して暮らせるサービス
70～74 歳	安否確認も兼ねる移動スーパー
20 歳未満	高速道路
20 歳未満	高速道路 賑わいのある建物、場所
20 歳未満	自転車が安全に通れるような道
60～64 歳	高速道路の早期開通。宇和島から愛南町～宿毛間の鉄道建設。飛行場の設置(Drヘリ等)
75～79 歳	高速道路
20～29 歳	地域において、妊娠・出産まで対応可能な産婦人科医療機関の設置を希望します。
40～49 歳	リハビリのできる病院、電車、カラオケ BOX
40～49 歳	医療の充実 不要な議員の削除
50～59 歳	町内で受診
60～64 歳	診療所
65～69 歳	老人ホームが少ない。眼科が少ない
70～74 歳	病院
20～29 歳	SNS の活用。観光客を集める取組
40～49 歳	野菜等の大規模直売所。介護タクシー事業者拡大。
50～59 歳	道の駅が町の集いの場になるように利便性が上がれば嬉しい。
20 歳未満	防災意識向上するための交流会
30～39 歳	全国のモデルとなるような防災機能
40～49 歳	防災のための街灯
20 歳未満	工場の誘致
60～64 歳	空き家の解体
60～64 歳	下水道
60～64 歳	婚活、子育て支援、働く場所
65～69 歳	障害者に対する優秀な指導員の確保
65～69 歳	障がい者の集まれる公的な施設
60～64 歳	高齢者の集まり
65～69 歳	各部落の年間行事。特に祭行事 (人が少なくなるので各部落の日時をずらして行っても良いのでは)
70～74 歳	全世代の交流イベント。民生委員に頼り切らない福祉行政
70～74 歳	地域の人達が楽しく集まるようなイベントがあれば良いなと思う
75～79 歳	ラジオの電波が悪い。スッキリと聞きたい
75～79 歳	老朽化、空き家解体工事にぜひ助成金を。不要土地、町で買取りを
30～39 歳	保育料について、入所している人数のみカウントするのではなく、複数子どもがいる場合は無償にしてほしい。愛南町独自の取り組みを増やしてほしい。
50～59 歳	生活支援事業の受給年齢の見直し(昨今晚婚化が進んでいるのに 39 才まではおかしい。若い人にしか支援しないと言っているようなもの)
65～69 歳	企業的な厳しい見地から新たに必要というより、無駄な物を省く方が結果的には良い方向性が見えてくると思う

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【城辺地域】[1/3] (n=93)	
20歳未満	高齢者が少なく、学生が気軽に遊んだり、集えたりする場所
20歳未満	跡地を利用して若者があつまる施設に
20～29歳	図書館
30～39歳	図書館
30～39歳	独立した図書館
40～49歳	図書館、博物館、交流施設を一つにまとめた施設の設置・運営
40～49歳	図書館や自習室などの学習施設
50～59歳	町全体の課題として、若者が里帰りししても集まる事ができる場が少ない。高校生の憩える場がフジのベンチというのはありまにも気の毒。カフェ併設の図書館など必要
50～59歳	若者だけでなく、住民が気軽に集える場所がほしい
50～59歳	図書館整備
50～59歳	町の規模にあった図書館の建設
50～59歳	同上（地域人が交流できたり、カルチャー教室などができる図書館が欲しい
60～64歳	高齢者の車のない人が集まって、何か楽しめる場所があれば良いと思います。特に男性の高齢者が楽しめる将棋・囲碁など。デイサービスでも男性が行きやすいように。高齢者のお宅訪問など声かけてもらえる则有難いです。
65～69歳	図書館
65～69歳	図書館がほしい
60～64歳	図書館
75～79歳	いろんな人が気軽に集える場所
75～79歳	やはり図書館はあれば良いと思う。
80歳以上	上の方に人が集まれる施設がほしいです
30～39歳	小学生が遊べる公園
40～49歳	公園、図書館など、集える場所の新設
60～64歳	公園・広場などの憩いの場所が必要だと思う
20歳未満	飲食店やスーパーマーケット
20歳未満	南宇和高校の近くにファストフード店を建ててほしい
30～39歳	ショッピングモールを作ってほしい
30～39歳	道の駅がもっと綺麗になって飲食できる場所や人が集まる場所になれば良いと思う。
40～49歳	セブンイレブン、セリア、マクドナルド
40～49歳	セブンイレブンが欲しい
50～59歳	JRの駅 56号線以外に道がないのは不安すぎる 下水道 どこに行っても臭くて気分が萎えるので 飲食店 全国チェーンの店がジョイフルしかない。全国水準のサービスを受けられる店が欲しい ショッピングモール 時間をつぶせる安全な場所がほしい
50～59歳	イオンなど、大型施設の誘致。
50～59歳	コンビニなどの食料品店
50～59歳	ランチができる明るい飲食店、図書館機能をもつ総合施設の新設
65～69歳	役場の近くにコンビニがあれば良い
65～69歳	愛南町中心部にジョイフル以外にも酒場ではなく、ファミリーレストランが欲しい。
65～69歳	レストラン・ラーメン屋などが少ない
70～74歳	健康寿命を伸ばす為の体作りへの無料？安価な施設。利用状況でポイントなどを付与する。医療費削減。実際に山陰の大山町？では市をあげてカーブスなどの施設を誘致したとの話もあった様です。
20歳未満	公共交通機関の拡充、人を呼び込む工夫、観光業(エコツーリズムのようなもの)

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【城辺地域】[2/3] (n=93)	
40～49 歳	あいなんバス御荘・城辺等中心地の循環路線化。その他は廃止し、個人でタクシー等に対応。あいなんバストヨタ e-パレット等のノンステバスへ変更
40～49 歳	タクシー利用料金の助成について、昨年 12 月から利用料金が上がったこと。また高齢者だけでなく若年層でも車を所有していない人もいるので、そのあたりの助成の案代を早急にした頂けると助かる
40～49 歳	高齢者、学生の移動手段を充実させてほしい。
50～59 歳	場所によって 100 円バスの利用が不便なところが多い
50～59 歳	ライドシェア
60～64 歳	あいなんバスを広い地域までカバーできる様にしてもらいたい
60～64 歳	今現在はあまり感じていないが、将来免許を返納した時に不便さを感じそう
60～64 歳	タクシー券
60～64 歳	町民が愛南バスを利用して図書館やスーパーや病院を経由したルートを考えてほしいです。（将来的に車の運転ができなくなるので）
65～69 歳	車の運転が難しくなると、買い物など、日常生活ができにくい。気軽に利用できる高齢者のためのタクシー等増やしてほしい。
65～69 歳	愛南バスの増便、宇和島バスとの乗り継ぎ時間の大幅な短縮
65～69 歳	あいなんバスの停留所を増やして下さい。集落に移動販売を出して下さい。
70～74 歳	あいなんバスの回数をもう少し増やしてくれると助かる
70～74 歳	高齢者が安心して免許証返納出来る体制作りの徹底
75～79 歳	タクシー会社を町などが運営して増やして欲しい
75～79 歳	デマンドタクシーの導入
80 歳以上	長野地区へのバスを通す事
50～59 歳	食料品の宅配
50～59 歳	近くにスーパーやお店が無い地域の買物支援
65～69 歳	介護サービス
65～69 歳	介護タクシーの充実
70～74 歳	自宅で買物が出来るシステム(地元スーパーとの連携等)
60～64 歳	若手による福祉、障害サービスの拡充
60～64 歳	家庭内にたまっているダンボールの回収をして欲しい。お年寄り集積場所まで持って行かず、ヘルパーも持って行くところまでの仕事はしない
75～79 歳	福祉サービスがほしい
70～74 歳	高齢者の支援、介護サービスの充実強化。
20 歳未満	高速道路が早くできたらいいなと思っています。
20 歳未満	道端を広くしてほしい
40～49 歳	駅・空港・とにかく高速道路
50～59 歳	僧都川の堤防をスーパー堤防化して車を通れる道にしてメイン道路化させる
65～69 歳	バイパス道路
40～49 歳	産婦人科
50～59 歳	婦人科、産婦人科の設置
70～74 歳	病院(県立南宇和)の充実。宇和島へ行かなくても良くなればと思う
70～74 歳	特老の充実
50～59 歳	津波タワーの設置
65～69 歳	避難タワー・地域の人が気軽に集える場所
50～59 歳	小岩道に風車が一望できる展望台が必要
60～64 歳	愛南の目玉となるテーマパーク。他県他町の観光誘致

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【城辺地域】[3/3] (n=93)	
20～29 歳	障がい者医療費助成の拡大知的障がい（療育手帳 B）理由は毎回いくたびに病院代と薬代がかかるからワクチンも無料にして欲しいですこども食堂（0歳～18歳）まで無料城辺の商店街の空き家を活用する夏休みなども利用できるようなにしよう
30～39 歳	町民を守るような様々な意見を実行するサービス
40～49 歳	住まいの地域ではないが、沿岸部等で電波環境が悪い地域がある。通信会社へ依頼して通信状況の改善が必要と感じる。通信環境を良くして、企業誘致や移住者の増加を図る一つのきっかけとして欲しい
40～49 歳	町議の人数・給与を上げるよりも、青年部や商工会で使える予算を上げて町を盛り上げる方法を税金で給与をもらっている人は真剣に考えて実行すべきです
40～49 歳	海辺で釣りをする方が多いので、その方達へのサービス提供ができないか
40～49 歳	携帯(モバイルデータ通信)が通じないのでその点はぜひなんとかして欲しい
40～49 歳	草刈りを自動で行える機器のレンタル事業。農薬のドローンのように、自動機械を使って草刈りができると老人の負担を減らせると思う。
50～59 歳	下水処理用水路の排水禁止
50～59 歳	近所の住民同士が、自分に出来る範囲で助け合える仕組みの構築。
50～59 歳	子育て支援
50～59 歳	緑樋口。菅沢川に降りる階段が10年程前の大雨時に流されてしまっている。町に要望したが聞き入れてもらえなかった。不定期だが清掃等しているので不便である
50～59 歳	身寄りない人や保証等を家族がいなくてもできる仕組みづくり
50～59 歳	夜間の太陽光利用 LED 街灯の数を増やす
65～69 歳	スマホ等によるプッシュ型の行政情報、生活情報の発信
65～69 歳	家回りで伐採した枝・庭木・草などの処理に困る。焼けないので。かわりに廃棄されている樹木のチップなどあれば分けて欲しい。ので、そういう処理場が近くにあれば
65～69 歳	バスセンターから御荘まで愛南バスに乗ろうとしたら、断られた。もっと柔軟にして欲しい。
65～69 歳	一人暮らしの高齢者の安否確認の為、町が(食品)パンやヤクルトを提供して見守ってほしい(週に1回)
65～69 歳	景観保全サービス 56号線 西海道路等に美観区域を設定し 景観阻害物（主に樹木）を排除するサービス
70～74 歳	空き家・土地の利用
70～74 歳	高齢化が進み、空き家も多く犯罪への対応が難しくなって来ている。防犯の目的で道路等に防犯カメラとか防犯灯の設備も必要ではないか

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【西海地域】（n=21）	
65～69 歳	公園トイレ(水洗い場など)綺麗にして欲しい
20 歳未満	あいなんバスの便数を増やしてほしい
50～59 歳	白タク
60～64 歳	コミュニティバスの便数増。観光事業の強化、各支所まかせの観光でなく、町全体・西南・南予・県との協力体制
60～64 歳	愛南バスの増便
65～69 歳	バスを利用しても行く時はいいのですが、帰りは何時間も待たないと帰れません。もう少し時間を考えていただきたい！
75～79 歳	あいなんバスのもう 1 便増やして欲しい。1 便遅れたら 3 時間近く時間を潰すのに一苦労です
80 歳以上	バスの路線数を増やして欲しい
40～49 歳	買物ができる商店がなくなるため、買物サービスなど
40～49 歳	県立南宇和病院の医師確保 移動診療車の導入 【メリット】・受けられる医療の距離的不利の解消 ・タクシー券等町の費用負担の減少 ・災害時に必要な医療体制の確保
75～79 歳	公民館での出張診療体制づくり 移動販売所の雨風対策(カーポート等)
50～59 歳	医療施設の充実
70～74 歳	医療施設の充実
75～79 歳	薬が欠かせません、近くに診療所の様な薬がもらえる所が是非船越に欲しい。 令和 7 年の夏、鹿島に行った際、トイレが非常に汚かった。遊泳後の汚れというものではなく、明らかに長期間掃除していない状態だった。海が大変きれいで職員さんの対応もよかったため、トイレの汚さが余計に残念だった。来てくださった観光客の皆さんに喜んでいただけるよう、鹿島のトイレの美化をお願いします。
40～49 歳	外貨が落ちるシステム
70～74 歳	道の駅をもう少し快適な場所に
75～79 歳	防災時の避難道・街灯設備
60～64 歳	危険性の高い空き家や空き地の対応を早急にしてほしい

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【一本松地域】[1/2] (n=45)	
20歳未満	学生がおりやすい場所
20歳未満	子供たちが遊べる、集まれるような場所をもっと必要だと思う。小学生などが遊べる場所が少ないように感じる。
30～39歳	図書館、学び、憩いの場を併設
30～39歳	複合型多機能施設
40～49歳	中高生の集まれる場所
40～49歳	業者（料理店のシェフ）から一般の方まで利用しやすい業務用キッチンが整備された10人～100人規模に対応できる宴会・交流スペースがあれば、地域行事や料理イベント、郷土料理研究など交流の場として活用できると思います。
50～59歳	銀行等、金融機関の充実。図書館等文化施設
50～59歳	図書館のような一日過ごせる場所があれば嬉しいです。
50～59歳	図書館機能の充実を進め、住民が気軽に集える場所に。町内に無料のWi-Fiを整備。閉校した学校校舎をコワーキングスペースやカフェに。
50～59歳	図書室・図書館（旧満倉小学校の活用）
65～69歳	図書館
65～69歳	文化交流施設整備
75～79歳	複合施設～災害避難施設としても利用
60～64歳	近くに老人が集まれる施設がほしい
20歳未満	飲食店、買い物をする場所
20歳未満	若者が移住したいと思える遊び場など。セリア欲しい
30～39歳	将来的にIC近郊地域であるため商業施設の充実さを御荘、城辺について増やして欲しい。
40～49歳	若者が行きたくくなるようなショッピングモールなどがほしい。あとマンションなど
40～49歳	食料品や日用品を買い物できる場所
40～49歳	役場周辺にコンビニがほしい。
50～59歳	一本松に飲食店が無い→魅力がない
75～79歳	一本松地域で買い物できるスーパーがほしい
50～59歳	愛南町で、スポーツ人口交流拡大のために、室内競技での県大会、全国大会が開催できる総合体育館の建設を要望します。
20歳未満	ネットワークの最適化
30～39歳	バスなどの公共移動施設の充実
40～49歳	車がなくても生活できるくらいの範囲で環境が整ってると、移動手段の充実。
50～59歳	高齢者が気軽に愛南町内を移動できる機能。
50～59歳	買い物ができるようにスーパーや病院を通る循環バス あいなんバスでは買い物が不便
70～74歳	マイクロバスはいらないのでタクシーで予約等したほうが効率が良いと思う。あんなに大きい車必要ですか？ほとんど乗っていません。
50～59歳	移動販売
50～59歳	買い物宅配サービス
60～64歳	食事の宅配サービス
75～79歳	遠くまで買い物に行けなくなったら時間を決めて食材等の配達をしてくれるサービスが欲しい
50～59歳	看護師の派遣が自宅に限られていると聞くので、介護・介助の必要な人の出先にも派遣できるシステムがあると便利だと考える。また不登校児が増えているということなので、学校以外に過ごせる場所を開発する必要があるようです
75～79歳	救急車が家の前の道路まで入れる事
75～79歳	医療の充実
75～79歳	健康づくりに関する運動機能(体力向上) 工場の場所・サービス

自由記述（新たに必要な機能・サービス）【一本松地域】[2/2] (n=45)	
50～59 歳	町内にある産直市を一ヶ所にまとめ、道の駅を大きくする。愛南食堂も道の駅に移転し、県外の観光客が分かりやすく、行きやすいようにする。愛南町の良い物を一ヶ所にまとめる。県内外の人が行きたい、行ってみたいと思える道の駅を作り、観光名所となるようにする
60～64 歳	県外からも人を呼べるような道の駅
40～49 歳	防犯・防災
50～59 歳	R56 の広見交差点(ローソン・交番がある交差点)から広見保免に入って第 1 集会所までの道幅の狭い所に街灯を設置して頂きたい
60～64 歳	働く場所が少ないと近い将来に町は無くなる
50～59 歳	団地に住みたくても空いていないと聞きました。空き家を利用できないのでしょうか？空き家に住みたい、店を開きたい、移住したいという人を手助けする課があってもいいのでは。
75～79 歳	愛南町でしかできないイベントを増やして他の県から注目してもらう
65～69 歳	(提供するならもう少し考えてほしい)クスベカヅラに覆われ、風によって道側に倒れ迷惑。担当課で見回りする様に。

### (3) 自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【内海地域】(n=17)	
50～59 歳	山の環境を良くする事で、美しい海を、持続させて欲しい。
50～59 歳	一人一人の大切な場所、思い出の場所、誇れる場所。海、室手からの海夕日、須ノ川灘からの景色、須ノ川海岸、キャンプ場、山、川などなど、町民一人一人にとっていろいろな残したいものを残せると良いと思います。観光資源になればより良いと思います。
60～64 歳	愛南町の豊かな自然と温かい人々の関係
65～69 歳	豊かな自然
60～64 歳	海とそこに生息する生き物
40～49 歳	地場産業
50～59 歳	地域産業
60～64 歳	地場産業
75～79 歳	愛南町の地域産業などあらゆるものの文化的価値を伝え残すべきと理解される考え方
50～59 歳	地域の祭り
75～79 歳	神社・お寺の維持
40～49 歳	今の公園。公園があるから健康維持になっているから。ウォーキング等
40～49 歳	地域の人々のつながり
70～74 歳	集会所・診療所・役場・JA・郵便局
30～39 歳	宇和島で仕事していますが、愛南の子育て支援は町外の人達は羨ましいと言ってます。続けてほしい。
75～79 歳	道路幅が狭いので、とがった落石を取る事を続けて欲しい
75～79 歳	地域を走る乗合いバス

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【御荘地域】[1/2] (n=59)	
20 歳未満	愛南町の自然
20 歳未満	自然 農林水産業
20 歳未満	自然の良さ
20 歳未満	森林
20 歳未満	美しい自然
20～29 歳	豊かな自然とそこで採れる旬のもの
30～39 歳	自然
40～49 歳	美しい自然やひとのあたたかさです。
40～49 歳	命豊かな海と山
50～59 歳	自然・景観
50～59 歳	自然と共存し、活かし、発展させるべく観光や生活・医療を拡充していく取り組みを作って欲しい

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【御荘地域】 [2/2] (n=59)	
50～59 歳	自然の美しさ
50～59 歳	豊かな自然環境
60～64 歳	綺麗な山, 川, 海(自然), 子供達, 若者
65～69 歳	美しい自然
65～69 歳	自然環境(山・海)
65～69 歳	自然
40～49 歳	綺麗な海や川, 南レクプール
40～49 歳	綺麗な海
40～49 歳	静かな環境
40～49 歳	県立南宇和病院, 南宇和高校, 綺麗な海
65～69 歳	景色の美しさ
20 歳未満	公園
30～39 歳	大人も子供も楽しめる自由な公園
60～64 歳	小さい公園(トイレ有り)憩いの小屋
70～74 歳	プール
20 歳未満	展望タワー
20 歳未満	展望タワー
30～39 歳	紫電改。日本にここにしかない名機。
40～49 歳	紫電改
50～59 歳	紫電改の展示館
65～69 歳	紫電改と四国 88 ヶ所
65～69 歳	零戦（※紫電改）の展示
20 歳未満	観自在寺
75～79 歳	遍路宿
70～74 歳	温泉
30～39 歳	この町ならではの文化や歴史
30～39 歳	秋祭り
40～49 歳	八幡神社
40～49 歳	祭り, 郷土料理, 部活動, 若者
70～74 歳	地域に根付いている文化, 伝統(秋のお祭り)
75～79 歳	文化・伝統
20 歳未満	特産品
20 歳未満	みかん
20 歳未満	海産物
30～39 歳	びやびやがつお
20 歳未満	第一次産業
50～59 歳	一次産業
20 歳未満	今残っている学校
40～49 歳	南宇和高校
50～59 歳	小中高, 一貫教育できる地域であってほしい。
65～69 歳	南宇和高校。少人数になってもせめて高校はあって欲しいです。通学費が高くなる負担が大きい
65～69 歳	南宇和高等学校
30～39 歳	子どもへのサービス (医療費無料, インフルエンザ予防接種無料など)
60～64 歳	人に優しい町づくり(これは建築家には関係ない事かもしれませんが)
60～64 歳	災害に強い町
75～79 歳	嘘をつかない温かさ, サービスの仕事の方も性格の柔軟性を求めます
20 歳未満	お金
60～64 歳	愛南町が要らないので全て国庫に

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【城辺地域】 [1/2] (n=75)	
20歳未満	自然
20歳未満	自然が豊かなこと
20歳未満	愛南町の緑, 愛南町の農林水産業, 人柄の良さ, 田舎っぽさ
40～49歳	山の木を残して欲しい。最近伐採が多い
50～59歳	自然と文化
50～59歳	自然
50～59歳	自然の豊かさ
50～59歳	山林に住む野鳥の数と種類
50～59歳	美しい自然, 美味しい農水産物
60～64歳	自然
60～64歳	自然環境
65～69歳	自然環境
65～69歳	自然, 祭り等の文化行事
70～74歳	美しい自然
70～74歳	自然環境
70～74歳	自然環境・安全安心な生活
70～74歳	地域の自然
70～74歳	緑豊かな自然
50～59歳	キレイな海
50～59歳	豊かな海
50～59歳	美しい海
60～64歳	美しい海の自然と安全な場所
65～69歳	海の豊かさ
65～69歳	風力発電の羽の音がしない。恐いほどの夜の静けさ。昭和中期のような泳げる川・透明な海
65～69歳	静かな町
50～59歳	愛南の景色
50～59歳	田んぼ, 農地, 綺麗な海と星空
20歳未満	観自在寺の町並み
20歳未満	紫電改, プール
40～49歳	外泊の石垣景観
40～49歳	紫電改
50～59歳	紫電改
50～59歳	紫電改
60～64歳	紫電改
60～64歳	紫電改展示館, 文化, 伝統, 遺産を残したい。
50～59歳	愛南町の歴史・文化・民話。高齢者の生の音声など出来る限り残してはどうか？
50～59歳	地域の祭り
65～69歳	文化(祭りなど), 漁業
70～74歳	若宮神社
75～79歳	平城貝塚。高茂岬までの整備された道路。蓮乗寺の桜
75～79歳	昔からある(又はあった)文化財
80歳以上	地区の祭り事
75～79歳	温泉設備
20歳未満	B&G 海洋センター, 夢創造館などの集える公共施設
20～29歳	夢創造館, こどもたちが遊べる場所
40～49歳	須の川キャンプ場
20歳未満	水産業
20歳未満	水産業や農業

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【城辺地域】[2/2] (n=75)	
40～49 歳	農業・漁業
40～49 歳	漁業, 林業, 農業
40～49 歳	水産業。
40～49 歳	水産業, 観光地
50～59 歳	地域産業
60～64 歳	農林水産業の特売品を残して欲しい
20 歳未満	城辺中学校
20～29 歳	南宇和高校
40～49 歳	南宇和高校
40～49 歳	南宇和高校
40～49 歳	南宇和高校
50～59 歳	小さな集落単位での教育環境
60～64 歳	城辺小学校の校舎は, 立派で美しい。こんな美しい学校は都会にはない
65～69 歳	南宇和高校
65～69 歳	南宇和高校・県立南宇和病院・愛南町
65～69 歳	高校が無くなるのは寂しいです。
65～69 歳	地域の中心ともいえる保育所, 小学校
65～69 歳	緑保育所, 小学校
50～59 歳	県立南宇和病院
50～59 歳	県立南宇和病院
70～74 歳	県立南宇和病院・南宇和高校
50～59 歳	若者が遊べる場所と, 働ける会社。
50～59 歳	高齢者の雇用の場所
65～69 歳	老人施設に安心して立ち寄れる場所を残したい
40～49 歳	海とともに生きる生活
30～39 歳	町民
70～74 歳	特に無し。人口減で残せないものは仕方ない

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【西海地域】[1/2] (n=27)	
65～69 歳	自然の風景
70～74 歳	愛南町の豊かな自然を残したい
70～74 歳	豊かな自然
75～79 歳	今のままの自然環境とポロ屋敷の撤去。
40～49 歳	景観
40～49 歳	漁村の景観
50～59 歳	自然な景色
60～64 歳	愛南町は足摺岬宇和海国立公園の中にありますが, この魅力であるリアス海岸の景色を道から見る ことができないので, 道路沿いの木を伐採してその景色を残したい
70～74 歳	きれいな海・人口
30～39 歳	海, 水産業
40～49 歳	水産業
70～74 歳	水産業・観光地
70～74 歳	水産業
20 歳未満	海の魚
20～29 歳	地域のお祭りやイベント
40～49 歳	お祭りや地区行事
60～64 歳	各地区にある伝統文化
65～69 歳	新しいのを建てるより, 古い建物を残し, 活動出来る様に

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【西海地域】 [2/2] (n=27)	
60～64 歳	石垣の里
70～74 歳	外泊石垣の里
70～74 歳	あいなんバス, 文化を残す・盆踊り・秋祭り
75～79 歳	地区文化・及び伝統
40～49 歳	町の施設ではないが県立南宇和病院, あいなんバス
50～59 歳	県立南宇和病院・南宇和高校
75～79 歳	愛南バス
75～79 歳	県立南宇和病院, あいなんバス, コンビニ
80 歳以上	地域間の交流

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【一本松地域】 [1/2] (n=45)	
20 歳未満	自然
40～49 歳	自然, 生き物
40～49 歳	海と山が充実しているのもっと活かしてほしい
50～59 歳	自然
50～59 歳	自然
50～59 歳	水産業, 自然の豊かさ
50～59 歳	小さなお大師さんの像, 祭り, 民話, 森林・田んぼの環境保全(すなわち海の保全) 消防団などの助け合い, 地域のイベントや生涯学習, 米作り
60～64 歳	自然が豊かな街
65～69 歳	自然とくに森林 地場産業
40～49 歳	田・畑
50～59 歳	畑
60～64 歳	水田・畑
20 歳未満	今の愛南町の景色や文化は残し続けて欲しい。
20 歳未満	定期的に開催されるイベント
30～39 歳	紫電改
30～39 歳	紫電改はもちろん, 秋祭り, 盆踊りなど地域の大きな伝統は残していきたいです。
30～39 歳	地域文化資産
50～59 歳	歴史的遺産
60～64 歳	紫電改やタワー周辺の景観・高茂岬・鹿島等, 工夫すれば良い観光名所になると思う
65～69 歳	秋祭り
65～69 歳	地域の祭り
65～69 歳	地区の祭り
70～74 歳	地域の伝統を守りながら楽しく地域の皆さんと過ごせること
75～79 歳	歴史的建造物の保存と活用
75～79 歳	紫電改の永久保存。戦争を忘れないために
40～49 歳	一本松温泉あけぼの荘
75～79 歳	あけぼの温泉・フレッシュ一本松・体育館
20 歳未満	学校
30～39 歳	一本松小学校の存続
50～59 歳	南宇和高校
50～59 歳	病院, 交流施設 (文化, スポーツ), 学校
70～74 歳	一本松小・中学校, 一本松病院
75～79 歳	小・中学校は残してもらいたい
75～79 歳	各地域での行政サービス・病院
40～49 歳	農家の方や漁師や仲買さんなど一次産業で働く方

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【一本松地域】 [2/2] (n=45)	
50～59 歳	産業(働く場所が少なくなり人口も減少し若者は町外に出る)
65～69 歳	農業・漁業・林業等の個人経営者の育成は重要
75～79 歳	地場産業
60～64 歳	図書館
65～69 歳	天体観測が出来る集会所とその広場
70～74 歳	整備された道路
75～79 歳	大きな倉庫
75～79 歳	介護サービス
50～59 歳	住民性
20 歳未満	なし

自由記述（お住まいの「地域」で将来も残したいもの）【地域不明】 (n=1)	
年齢不明	美しい自然環境

(4) 自由記述（その他）[全回答]

自由記述（その他）【内海地域】(n=10)	
30-39 歳	食べ物もおいしいし観光地もあるので交通さえよくなれば、もっと人に来てもらえるのでは。
40-49 歳	愛南町には若い世代が残ってくれる魅力がない。若い世代がいない町は成り立たない。生まれた子どもや保護者に対する支援ばかりで、妊娠してからの支援に力を入れても意味がない。そこに至るまでに若い世代は既に町を出ている。残りたい町、選ばれる町になるには学習できる環境、働く場所の確保、十分な賃金や雇用形態が必要。いつになったら高校生の図書館が欲しいという願いは叶えられるのでしょうか？思いが届かない町には住めません。環境が整っている所に出ていくのは当たり前です。そろそろ真剣に学生の思いを聞くべきです。
50-59 歳	若い人たちが、暮らしやすい町にして欲しいと思う。
50-59 歳	未来を担う子供たち、未来の住民が幸せに、輝きながら生活をしていけるような愛南町にできればと願っています。
75-79 歳	義務教育学校は小規模になってもできるだけ地域に残したい。 廃校になるとその地域は急速に衰退する
75-79 歳	先月油袋までの道路のとがった石をとりのぞいて下さりありがとう
50-59 歳	町への要望ではありませんが、国道の路面が酷い区間が多いのでなおしてほしい。 (凹凸、落ち込み、つぎはぎ部分のクオリティ)
60-64 歳	地域交流となる拠点整備
65-69 歳	橋のコンクリートがひび割れて川に落ちて鉄筋が見えている。役場に報告はしていると思うがその後の進展が不明
75-79 歳	自治体組織継続方法等について

自由記述（その他）【御荘地域】 [1/2] (n=32)	
30-39 歳	観光案内が同じ場所ばかりなので、新しいものをどんどん作ってけると良い
30-39 歳	町おこし系の活動や、移住促進、福祉サービスなどに対して費用対効果を数字で管理し、見込みのないものは削減すべきだと思う。 削れない町おこしの目玉となるようなイベントについて、結果が芳しくない場合は、将来的には自分たちだけで運営していけるような契約にし、成功報酬でプロに依頼すべきだと思う。
50-59 歳	人口規模にあった役場職員数にする為の人員削減の実施
50-59 歳	人口減少、高齢化を迎え、各人の意向を尊重しながら、インフラをコンパクトにまとめながら既存インフラの維持を進めて頂きたい。
60-64 歳	人口減少になっても財政の維持。愛南町に移住者が来るよう創意工夫が必要
60-64 歳	リセットして再開発 (役場をマスターハブとして)
60-64 歳	若者が働き住める場所
40-49 歳	このアンケート、3～5分では全然終わらなかった。
65-69 歳	耕作放棄地でプロッコリーの栽培が増えているのが嬉しいです。頑張ってください
75-79 歳	愛南町がいつまでも元気な町であって欲しいと思い願っています
75-79 歳	私の住んでいる地区は皆生き生きしている。草刈り等協力していただき、本当に感謝。私も常に声かけし、医療関係の仕事をしていたので手助けをこれからもしていきたいと思う。愛南町に満足しています
40-49 歳	町外の方が行ってみたいと思える場所を作る。例えば、香川の「まんのう公園」のようなイルミネーションやフェスを開催しているような場所が愛南町にもあればいいのではないかと思います。そのためには電車等の交通手段の整備も必要となってくるといった課題も考えられますが、検討していただけたらと思います。
60-64 歳	紫電改の展示館を作り変えるのだからもっと町外にアピールをして見に来てもらうようにすれば良いのではと思います
75-79 歳	上記の災害後の生活再建場所に、同じ所ではあらゆる面で困難と思われる。今のうちに町内の高台(山林・農地など)を町で確保し、平地にして仮設住宅・移住先の準備をしてはどうでしょうか。又、一時避難場所にもなります

自由記述（その他）【御荘地域】 [2/2] (n=32)	
30-39 歳	高速道路の整備を早急に進めてほしい
40-49 歳	子供の勉強環境
40-49 歳	車が主な移動手段でありながら、平城小学校や御荘中学校へのアクセスが不便です。今後の改善を願います。
50-59 歳	イオンモールの様な大型商業施設や、海産物が買える市場の様な施設の誘致。
50-59 歳	観光客が来ても楽しめる、又はゆっくり出来る場所がない(工夫がない)
50-59 歳	観光に力を入れて、人を集めて欲しい。イベントするだけでは微力すぎる
50-59 歳	図書館は今あるものを作り変えて活用したり、街灯が少ないので増やしたりして欲しい
50-59 歳	図書館を建設してほしい。
50-59 歳	南宇和病院の医師不足
65-69 歳	高速道路を含む交通インフラを早急にして欲しい(愛南町)
65-69 歳	市有地で管理できずに雑木が伸びて周辺に影響が出ている田畑の管理が出来たら良いと思う
70-74 歳	町中心部への生活場所変更がよりスムーズに行えるようなサービス(一人暮らしの支援)
75-79 歳	物価高騰で低年金者は日々生活困窮で夢も希望もない。新たな箱ものに高額投資をするのではなく、特に低年金者への助成を求めたい
30-39 歳	こんな価値がないような町にお金を使うのはもったいない。津波が来なくてもどうせ高齢化で楽しさがない場所に若者が定着することも無理。一体何をしたいのかわからないし無駄に住民税とか払いたくもない。早く愛南町から脱出させてそこにお金を配る制度作らないと無駄死にする人が増えるから早く改善して欲しい。
30-39 歳	議席が多い、意見もないなら無駄なので減らしてほしい
40-49 歳	人の邪魔ばかりする議員は必要ありません
50-59 歳	生コンの車が当たり前に工場近くの十字路を停止する気配もなく走り、不愉快。住民に配慮した交通ルールを守れ。私道と勘違いしてるのか？
65-69 歳	アンケートの方向性がはっきり見えない。手も換え品を換え、同じような落とし所へ誘導しているような気がするのは私だけではないはず

自由記述（その他）【城辺地域】 [1/3] (n=55)	
20 歳未満	高校で地域振興研究部として活動したり、愛大の機関を介して、一人でも地域を盛り上げる活動をしています。もっともっと愛南町の魅力を見出して、注目の集まる町になればいいなど願っているし、そうしたいです。
20 歳未満	高速道路を利用してたくさんの人が愛南町を訪れてくれたら嬉しいです。
40-49 歳	宿毛や中村、宇和島の商店街も寂れていますが、愛南ほどではない。中村は様々なイベントを実施しているとニュースで観ました。四万十でよさこい祭りを青年部が行い、その経済効果も年々上がっているとか。税金をどこに使うのかももっと考えて欲しい
40-49 歳	愛南町の今後の為にぜひ協力したいのですが、今後も転勤の予定があるため意見交換会に登録できずすみません。老後は地元愛南町に住みたいので、ぜひ今後のより良いまちづくりをお願いします。
40-49 歳	今後町を維持するのか他、市町と合併するのか大きい方向性は考える必要がある 高速道路整備御通過される事がなく、愛南町を利用して頂く事が重要だと思う
40-49 歳	南宇和高校存続の為寮建設 必要である箱物は必要と何に対しても議会に於いて反対される事に対してある特定の議員に大変不愉快を覚えます。もう少しスムーズな議会運営の為理解して頂きたいです。
40-49 歳	必要な所に予算と施設を、選択と集中 コンパクトシティの実現
50-59 歳	高齢者と言われる人達の活躍の場の創設により、高齢化の介護予防による社会参加と役割を持てる地域にならないと、人口減少社会に迎えないと思う。 高齢者同士での協働、共生できる場も必要なのではないかと思えます。
50-59 歳	子供に支援をしても、大学等がないので、賢い子達が愛南町に戻ってこない。 大きな会社を誘致することが大切。リモートで仕事ができる IT 企業とか。
60-64 歳	愛南町はポテンシャルはあると思うが、シンボリックな物が何もない。高速が抜けてもインターチェンジが出来ても素通りされる可能性が高いと思う。スピード感を持って手を打つべき。そこから広がって行くのでは？

自由記述（その他）【城辺地域】 [2/3] (n=55)	
60-64 歳	端々を切り捨て、コンパクトシティの町づくり
65-69 歳	少子高齢化、人口減少に対する対策や対応が急務、手当や補助等の物理的対策ではなく有効なソフト対策を打ち出してほしい
60-64 歳	子育ての環境については、情報もないのでわからないのですが、南校生の宿舍か寮の建設について新たに建設するのは現在の民間アパート等で対応できないのですか？空き家も多いのに利用できないのか。地域が潤うよう考えて欲しいです
70-74 歳	将来性の有る若い方の意見を多く取り入れてあげてください
75-79 歳	命が守れる町作り。新しい箱物要らない。希望者が入れる町営住宅(安い)を作る=交通の便利な場所=独居を減らす
65-69 歳	西予市みたいにならないで下さい。健全財政第一
75-79 歳	議員先生方のレベル向上(選ぶ町民も悪いが)か定数減ら
40-49 歳	既出であれば申し訳ないですが、家族連れをターゲットにした愛南町のツアーを企画してほしいです。例)夏休みに家族連れで愛南町へ→当日は家族でプールを利用、翌日の早朝から船で釣りにいき、夜には釣った魚を調理してもらい家族で食事をする。1~2泊を想定。魚釣りは手ぶらで参加(道具をレンタル)でき、魚を直接触れなくてもよい環境を整えて初心者でも船での魚釣りの体験ができることを目的とする。
50-59 歳	海ばかりでなく、山をもっと有効活用する。町有林のキャンプ場、観光地化、オフロードコースとか
70-74 歳	小さな生活圏にすれば、交通(バスやタクシー券)も少なくて済む。若い人を増やすことを望む
75-79 歳	高齢者と若者の文化の交流、趣味等を楽しむ集まり。
80 歳以上	現行の主だった所の自然景観等を荒らさず整備し、又それらに準ずる道路交通面を円滑化し、町上げてPRに努め県外及び国外の観光客を一時的に無料で招待すべき 町予算を立ち上げ、外来者誘致に努める事で近い将来において町全体の活性化につなげる起爆剤になるかと考える
20-29 歳	私は知的障がいがあります医療費助成、インフルエンザワクチンを愛南町独自で助成してくださいそして障がい者雇用も積極的にしてください最後に障がい者や子供、高齢者に優しいまちづくりしてください
20 歳未満	若い世代が愛南に帰省してくる際にみんなで集まれるような施設を建設してほしい。
20 歳未満	城辺、御荘の商店街で行っていた夏祭りを復活させて欲しい
20 歳未満	道路周辺の整備や、災害時のための防災訓練の地域レベルでの強化、学生が気軽に町外に遊びに行けるためのバスなどの支援をしてほしいです。
30-39 歳	土手の街灯を増やして欲しい
40-49 歳	深浦のマグロや高茂岬、ダイビング等 観光に力を入れたらいいと思う
40-49 歳	広報あいなんを見ると、出生数の少なさにびっくりします。愛南で安心して子どもを産むことができるようにすることが一番大切だと思います。
40-49 歳	農家、漁師、猟師などへの補助を増やして若者が働きたくなる環境にしてもらいたい
50-59 歳	緑小学校は防災避難場所で残す必要あり
50-59 歳	緑樋口。猫の放し飼いをしている家が近所あって、フン・尿等の被害がある。近所付き合いがあるので直接苦情を言うことにためらいがある
50-59 歳	空き家の貸し出しを町が関与し積極的に貸与してほしい
50-59 歳	高速道路の早期延伸を望みます
50-59 歳	若い人たちが楽しめる街づくりをすれば高齢者にとっても楽しい街になると思います。有休施設の活用も大事ですが、どの街にもある図書館機能を備えた総合施設があれば、若者も年寄りも子供も集まり楽しめると思います。図書館は本を読むためだけの場所ではなく、集会や勉強をしたり、子どもを遊ばせながら親が休める場所でもあります。ぜひ前向きな検討をしていただきたいです。
60-64 歳	両親が仕事で帰りが遅い時に、児童を預かれる場所があれば高齢者も見守りが出来ると思う
60-64 歳	愛南町にあった行政サービスを行ってほしい。海岸地区の高台移転など長期的な防災計画など
65-69 歳	高速道路を早く開通して欲しい(遅すぎます。人口減少の原因になっているかもしれません)
65-69 歳	細道に倒れる竹や落ち葉の整備をして下さい
65-69 歳	老人ホームを作って欲しい
65-69 歳	蓮乗寺川を昔の様に 和鮒釣りが出来る川にしたい 現在河川工事が原因で夏季を除いて涸れ川になって久しい。県土木にクレームして下さい。あの夏のスッポンも鰻も蛸も何処に行ったのでしょうか
65-69 歳	津波災害への安全性の高い地区での有効な空き地、空き家利用を推進して欲しい。

自由記述（その他）【城辺地域】 [3/3] (n=55)	
70-74 歳	愛南町にある文化活動、生涯学習・各種サービスの周知・見える化
70-74 歳	西海道路から見えるリアス式海岸の景観(海側に木が茂っていて見えない)
75-79 歳	タクシー会社の誘致
75-79 歳	地域の核となる公民館づくり あいなんバスの拡充
75-79 歳	私の所は消火柱もないし、いろいろな面、便利が悪い。ポストもなし
80 歳以上	横のつながりがないのでもう少し考えて欲しい
65-69 歳	せっかく世界からのお遍路さんが通る町なので、地域の美しい寄り道を発信(立ち止まって、泊まって交流したり、体験できる場所があればと思います)海の景色が草木で塞がれているのももったいない
30-39 歳	まずは公務員を減らして税金のムダ使いをやめて下さい
50-59 歳	とにかく生活しづらい。ずっと町内に住んでいる人は感じていないようだが、余所者には辛すぎる。地理的に隔絶されているからか、リアルな情報が入らず時代錯誤なことが多い。そして時代錯誤な考え方の人が町内で幅をきかせている。外部からの移住者は辛いです。
65-69 歳	野焼きをやめてほしい。臭い洗濯物が干せない。最悪の場合、月に1回とか日時を決めてほしい
65-69 歳	町職員の質が低すぎる。能力・サービス共に一般企業なら最低レベルの低さ。観光・特産品の販売力など一般人の方が高い
70-74 歳	人口減の解消が難しいのは明瞭ですが、あまりにも人口が減るスピードが速く維持するのが困難な状況を危惧しています
70-74 歳	南宇和高校に県外から入学する学生寮建設。建設費6億円が町の運営費からという話を聞きましたがこの財政難、厳しい時に何を考え、愛南町を発展したいのか？先ずこのアンケート対策をこなすのが優先順位なのではないか。町民の意見も聞かずに今年度予算に入れてるとは何か

自由記述（その他）【西海地域】 (n=16)	
40-49 歳	医療の充実に住みやすさにつながるため（県立南宇和病院） 100円なので気軽に利用でき経済的負担が少なく外出しやすいため（あいなんバス）
65-69 歳	はずかしくない愛南町になってほしい(町民1人1人の思い次第だと思う)
75-79 歳	若い人達が多く働く場があれば出て行かない
50-59 歳	このようなアンケート取って実践できますか？
50-59 歳	自分が車を運転出来る間は不便を感じ難いが、高齢になると何をすることも不安しかない。
60-64 歳	今まで維持保存してくれているから。
70-74 歳	地域要望に対し細い説明
80 歳以上	他人を思う思いやりの気持ちです
50-59 歳	三島団地など古い所を直す、若い夫婦が入れる様に。イメージを良くする。空き家を直して売る
60-64 歳	移動販売車を利用しやすい場所、地域での販売車がレージや屋根付きの場所
60-64 歳	県道脇の木を伐採してほしい、見通しが悪いため。
65-69 歳	介護場所の増設や介護人の確保
65-69 歳	高台に避難場所
65-69 歳	崩壊寸前の空き家はとても危険であり、外観も悪いので、解体には色々問題はあると思いますが、何とかして欲しいと思います。
75-79 歳	交通(あいなんバス)の便数を増やす
75-79 歳	特殊詐欺など地域を越えて入ってくる犯罪などを未然に防ぐ警察力が必須。

自由記述（その他）【一本松地域】 [1/2] (n=25)	
30-39 歳	町は住みやすいと思います。ただ、運転免許を返納した後、端々の人は一気に生活が不便になってしまうのが心配です。
40-49 歳	防災意識は重要ですが、様々な自然災害ありきで、この土地の歴史は刻まれてきてます。海に何か手を加えたり、山に何か手を加える時、それが、誰を守り、何を守り、誰がそれを望んでいるのかよく考えてから金や人と時間を使うようにして欲しい。知らない間に、景観が壊れるのは人災です。

自由記述（その他）【一本松地域】 [2/2] (n=25)	
40-49 歳	ソーラーがたくさんあって、まだ増えてて、持続可能なエネルギーとして必要なのかもしれませんが、それはいざ災害の時に活用できる資源になっているのでしょうか？ソーラーの会社の営利目的の為にこの地域の自然環境が壊されているのなら、残念です。これだけソーラーあるから、災害時には電気には困らない、というなら別ですが、知らないだけで、そのような仕組みになっているのならすみません。田舎の魅力は自然が豊かなところだと思っていたので、あまりソーラーばかりだと、なんの魅力も無くなってしまいそうで。ソーラー作るくらいなら、プロッコリー畑になって欲しかったというのが本音です。
50-59 歳	はっきりとした結果を出すことが求められるが、その一方で、ずっと先に人口増加（維持）につながる施策もしていただきたい。
50-59 歳	高校がなくなると少子化と高齢化に拍車がかかる。高校の魅力化に取り組んでほしい。
50-59 歳	人口減少局面では、大規模な開発ではなく、今ある資源の有効活用が望まれる。国道・県道へのアクセスを優先した地域の活性化を目指して欲しい。
50-59 歳	都会の良さや田舎の良さ、昔ははっきりと違う良さを感じられたように思います。今は田舎では何をしてもお金がかかり、子供の教育、体験きかいなど、都会に比べると不平等のように感じてしまいます。明るい未来を感じられない場所には若者は定着しないのだらうと思います。働く場所がないことには人口は減っていくばかりですよ。
65-69 歳	愛南町の広報の配布は各地区の常会にまかせているが高齢化が進んでいる為(負担となって)将来は役場が配布する様にしようか
70-74 歳	高齢化により地域の道路維持の難しさ(草刈り等)
50-59 歳	跡を継ぐ者は無く、私(58才)が二番若者。いずれ地域はなくなる
50-59 歳	地域の方や行政の方、陰に日なたに大変お世話になっており、ありがとうございます
60-64 歳	人口減少が進むスピードが早すぎて対策が遅すぎて何をしたらいいのか、もう 30 年遅い気がする。あいなんバスは無駄だと思う。大きいバスを使ってもったいない。タクシーで充分
70-74 歳	昔の松下寿のような大きな働き場があるといいなと思います
30-39 歳	産後ケア事業がホームページには載っているが機能していない。松山や高松では、口コミで、良い噂を聞いて参加する人が増えている。愛南町では口コミで悪い話が広がり参加しなくなっている。子育てをしやすい街づくりを希望する。
50-59 歳	ソーラーパネルが自然を壊して設置するのをやめて欲しい
50-59 歳	早く高速道路の延伸をお願いします。
60-64 歳	あいなんバスの増加
60-64 歳	医療の充実
60-64 歳	公園の遊具が次々と撤去され、家の近くで子供と遊ぶ場所がなくなってしまった。小さな公園でも近くにあってありがたいのですが
60-64 歳	隣の空き地(空き家あり)や裏の家の雑草が所有地に侵入してきて対応してもらえない。対策をお願いしたい
60-64 歳	図書館のレベルが低すぎる。とても残念。
65-69 歳	お願い・希望があります。私は一本松です。上大道～広見～一本松県道、昔は人数も多く中学校に通うのに自転車でも照明もあり、人が多かったのが特に冬など皆で帰ってました。今は今度甥っ子の子供が今年中一です。小学校の通学バスがあります。毎日とはいえませんが利用する事はできませんか？冬の夜は真っ暗です。特別に利用する事はできないのでしょうか
65-69 歳	呼びかけて欲しい事 昼間でもトンネル内の無灯火の車はやめて欲しい!!
75-79 歳	休耕地の改善
75-79 歳	自動車道早期完成(医療が町内で完結できない)

自由記述（その他）【地域不明】 (n=2)	
無回答	環境を壊すような大きな工事はやめてほしい
無回答	はまち業者のにおい・汚さ。無関心